

令和4年度
第1回 区政モニターアンケート
調査報告書

《文化芸術事業に対する意識、活動等状況調査について》



足立区 政策経営部 区政情報課

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の時期	3
3 今回の区政モニター数、回答者数	3
4 回答者の構成	4
5 報告書の見方	5
第 2 章 調査結果 9 つのポイント及び今後の方針	7
1 調査結果 9 つのポイント	8
2 今後の方針	17
第 3 章 調査結果の詳細	21
設問体系と回答の概要	22
1 文化芸術の関心度	25
2 文化芸術に関心がある分野	27
3 文化芸術に関心を持つようになったきっかけ	28
4 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験	29
5 文化芸術の作品を観たり聴いたりした分野	31
6 イベントや作品を観たり聴いたりした場所	32
7 作品を観たり、聴いたりしたきっかけ	33
8 観たり、聴いたりしたイベントや作品を知ったきっかけ	34
9 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりしなかった理由	36
10 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加の有無	37
11 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座の参加場所	39
12 参加したイベントや講座の場所・内容	40
13 イベントや講座の参加後に文化芸術についておこなったこと	41
14 趣味やサークルなどの芸術活動に関わる普段の活動状況	42
15 趣味やサークルなどの芸術活動の内容	43
16 区内や居住地域の伝統芸能や文化財への関心の有無	44
17 区内や居住地域の伝統芸能や文化財を見たり聞いたりした体験の有無	46
18 観たり聴いたり体験した伝統芸能や文化財の内容	47
19 今後の区の文化芸術事業にとって重要だと思う分野	48
20 今後の区の文化芸術事業で力を入れてほしいもの	49
21 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え	50
22 文化芸術について	51
第 4 章 調査票	53

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

足立区では、令和2年3月に「足立区文化芸術推進計画」を策定し、当該計画に基づき、文化芸術施策や事業を展開しています。

今回、足立区の文化芸術関連事業に対する区民のみなさまの意識や文化芸術活動等の状況をお伺いし、今後に活かしていくため、本アンケートを実施しました。

※ 本アンケートにおける「文化芸術」とは、音楽、美術、落語、華道、書道、演劇、舞踊、映画、伝統芸能、文化財・遺跡などを指しています。

2 調査の時期

令和4年8月10日（水）～8月31日（水）

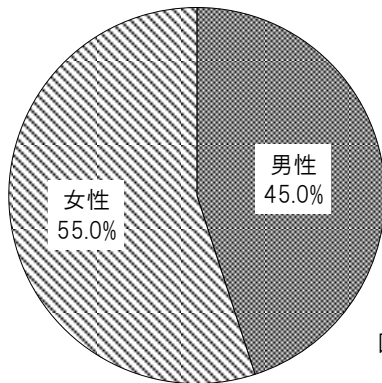
3 今回の区政モニター数、回答者数

区政モニター数	194人
回答者数	189人（回答率97.4%）
〔内訳〕	
郵便回答	68人（36.0%）
インターネット回答	121人（64.0%）

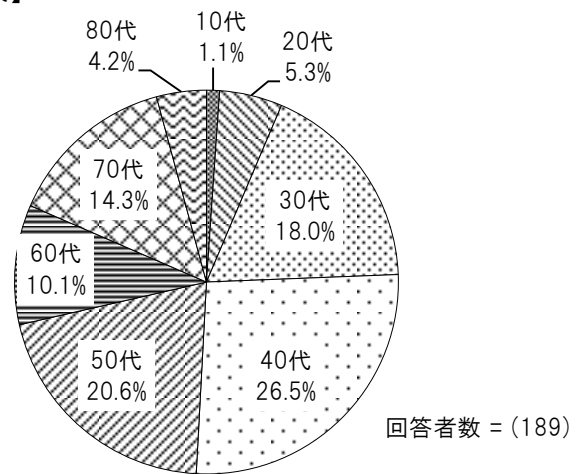
4 回答者の構成

(1) 性別、年代別割合（全体）

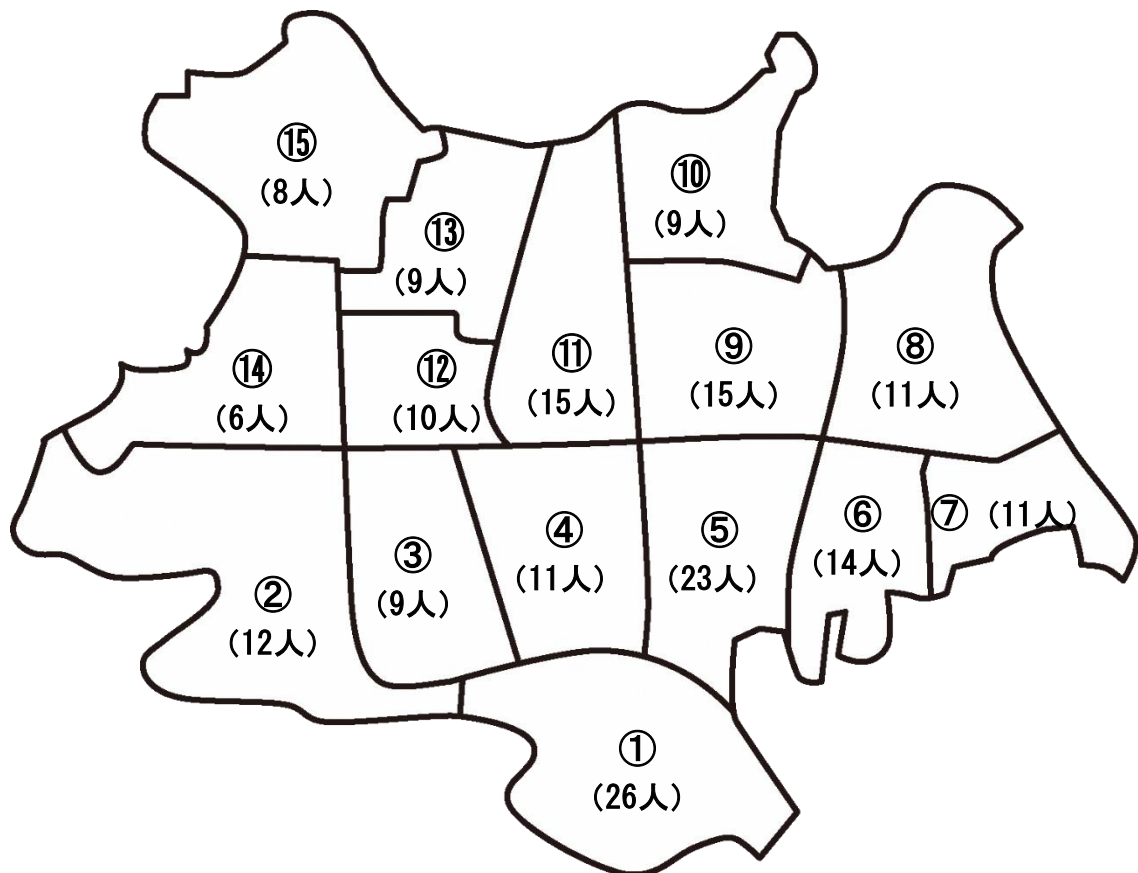
【性別】



【年代】



(2) 地域別人数（上段：地域番号、下段：人数）



5 報告書の見方

- (1) 回答比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。小数点第2位を四捨五入して少数点第1位まで示したもので、比率の合計が100.0%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 複数回答の設問は、すべて比率を合計すると100.0%を超えます。
- (3) 選択肢の表記は、グラフ・数表では全文言記載を基本としていますが、一部の設問の選択肢の表記においては、回答内容を分かりやすくするために括弧内に語句を追加表記している場合があります。一方、分析コメントにおいては、逆に、調査票の選択肢の括弧内の語句を簡略化や省略している場合があります。
- (4) 本報告書に掲載している年齢層によるクロス集計は、10才刻みの「年代別」、および、10代から30代を合わせた10～30代（若年代層）、40代と50代を合わせた40・50代（中年代層）、60代から80代を合わせた60歳以上（高年代層）の3層からなる「年代層別」の2種類がありますが、10才刻みの「年代別」については、複数の年代でサンプル数が20未満と少数であるため、参考値としての掲載にとどめ、分析では「年代層別」について言及しています。
- (5) 本報告書のグラフ表記について、前問の回答に応じて回答者を限定している該当設問において、回答者数が100人に満たない場合は、「年代別」や「年代層別」のグラフ表記は割愛して、全体結果のみの表記と分析としております。

第2章 調査結果9つのポイント及び 今後の方針

《9つのポイント》

- 1 一年間で芸術を観たり聴いたりした人は7割弱。残りの3割のうち、コロナを理由として鑑賞しなかった人は7割いる
- 2 大人・子どもに対する文化芸術事業の評価は5割を超える。一方、子どものみに対する評価は4割に満たない
- 3 コロナ禍でも6割は区外施設などで文化芸術の作品を鑑賞している
- 4 過去一年間の文化芸術鑑賞は、10代から5割を超え70代の約7割まで、年齢が上がるほど高い傾向である
- 5 趣味やサークルなどの芸術活動は、30～50代にかけて減少、60代以降増加している
- 6 区内伝統芸能や文化財への関心は8割、誇りに思う方の6割と比べ、観たり聴いたり体験は4割と低い
- 7 今後重要だと思う分野の上位3位は「文化財・遺跡」56.1%「音楽」47.6%「美術」34.9%である
- 8 イベントや作品を知るきっかけは、すべての分野でインターネットが5割を超えている。伝統芸能などは広報、写真はSNSが多く、分野ごとの傾向が見られた
- 9 区の文化芸術事業の情報発信に満足と答えた方は3割と低い

1 調査結果9つのポイント

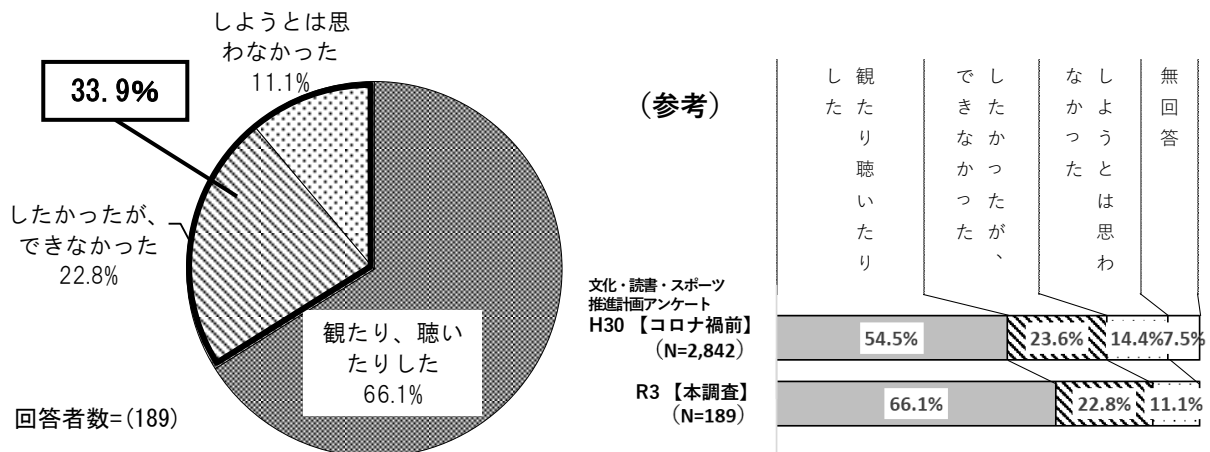
(1) 一年間で芸術を観たり聴いたりした人は7割弱。残りの3割のうち、コロナを理由として鑑賞しなかった人は7割いる

過去一年間に、文化ホール・美術館等やイベントに行ったり、オンラインやWEBやテレビにより、文化芸術の作品を観たり聴いたりしたことがある割合は66.1%であった。したがって、33.9%は文化芸術を観たり聴いたりしなかったという結果であった。

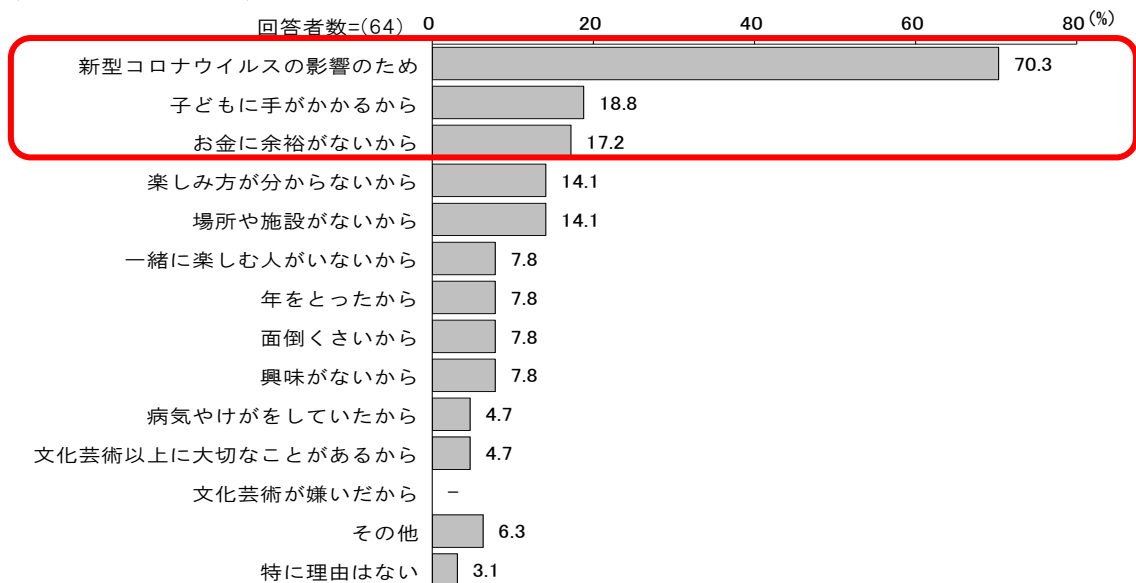
観たり聴いたりしなかった理由を調査した結果、「新型コロナウイルスの影響のため」が7割を超える結果となった。

なお、そのほかでは「子どもに手がかかるから」が18.8%、次いで「お金に余裕がないから」が17.2%であった。

<過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験>



<文化芸術の作品を観たり聴いたりしなかった理由>

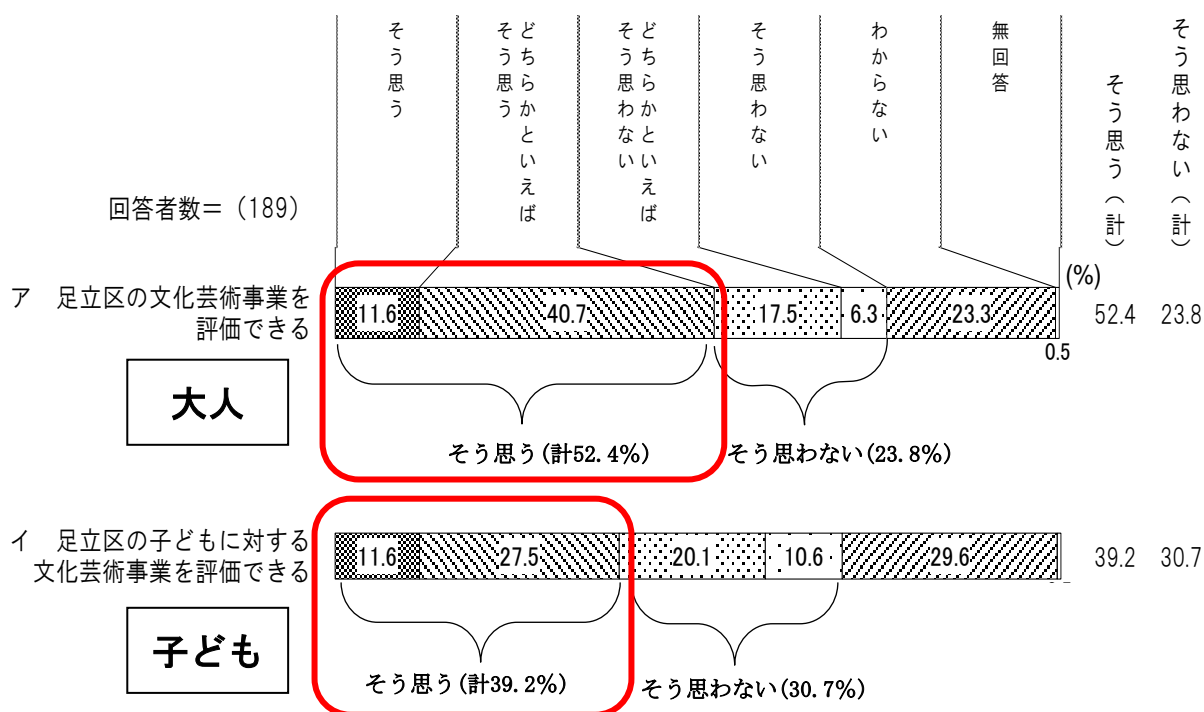


(2) 大人・子どもに対する文化芸術事業の評価は5割を超える。一方、子どものみに対する評価は4割に満たない

足立区の文化芸術事業を評価できると回答した人は52.4%であり、半数を超えた。

しかし、足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できると回答した人は39.2%であり、大人を含めた文化芸術事業の評価と比べ13.2ポイント低い結果であった。

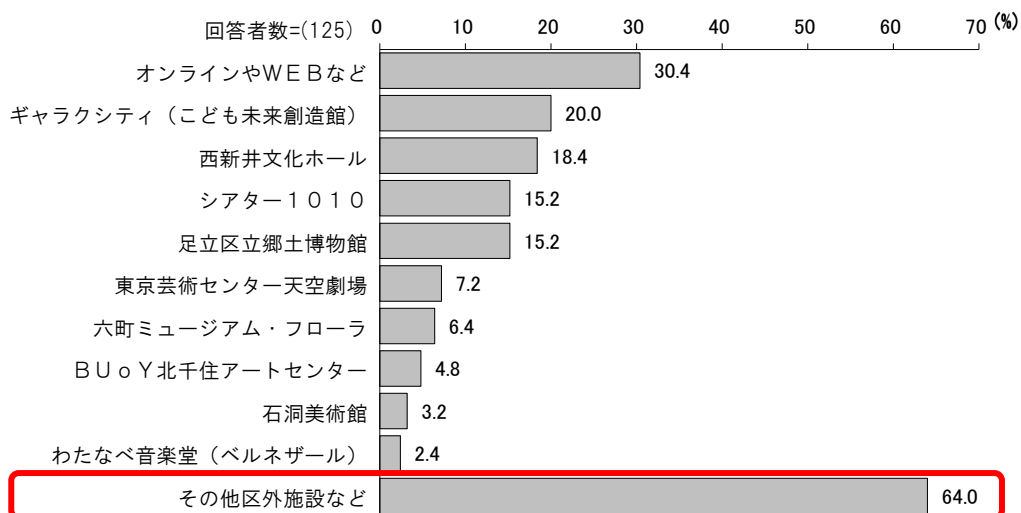
<文化芸術について、どのように感じるか>



(3) コロナ禍でも6割は区外施設などで文化芸術の作品を鑑賞している

過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした場所について調査したところ、その他区外施設などを利用している人が64.0%であった。

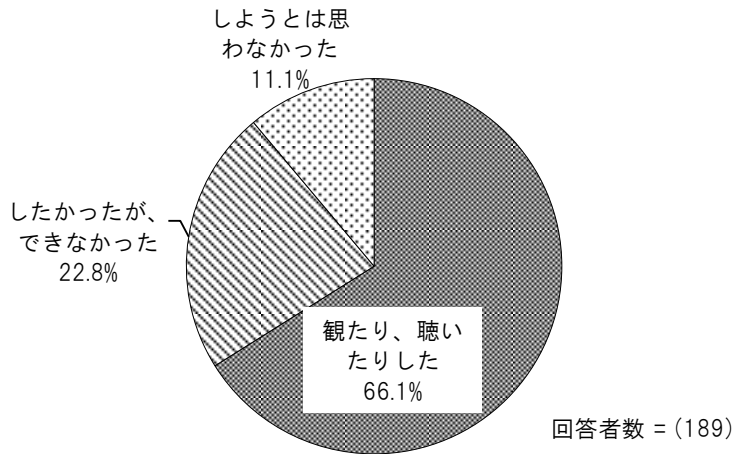
<過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした場所>



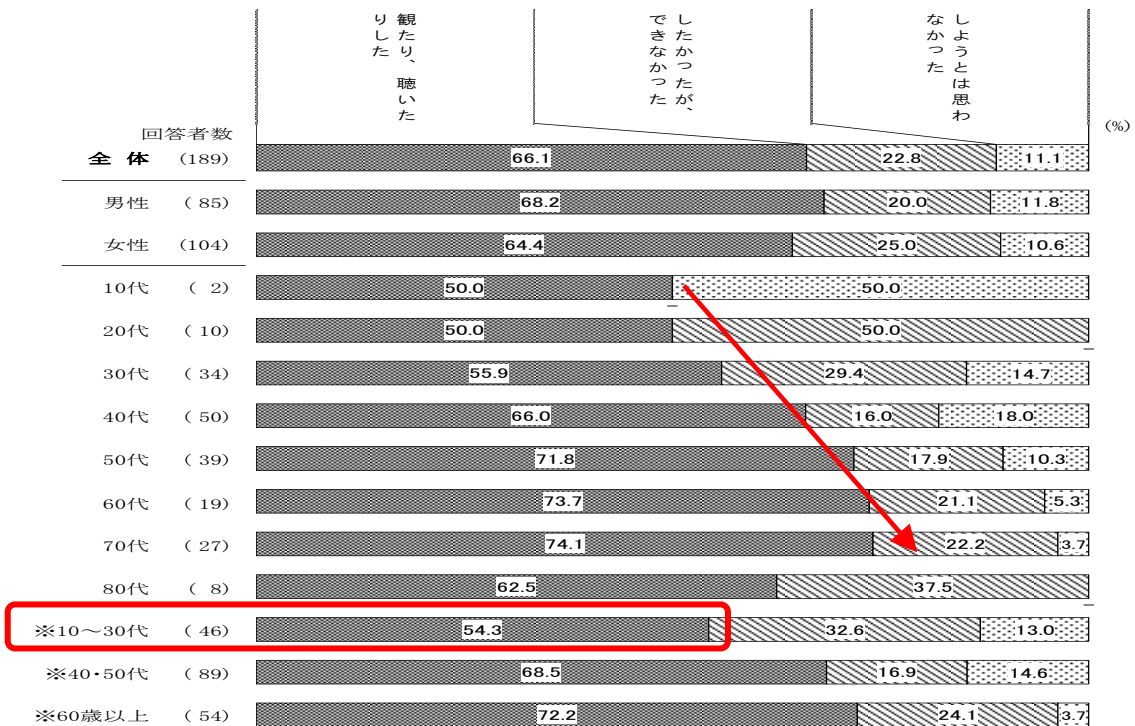
(4) 過去一年間の文化芸術鑑賞は、10代から5割を超え70代の約7割まで、年齢が上がるほど高い傾向である

過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験の有無を、年代別に分析したところ、40代、50代は全体の割合と概ね同じ傾向であり、60歳以上は比較的高かった。10～30代は全体の割合に比べ11.8ポイント低いという結果であった。

＜過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験＞



＜性別・年代別／過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験＞

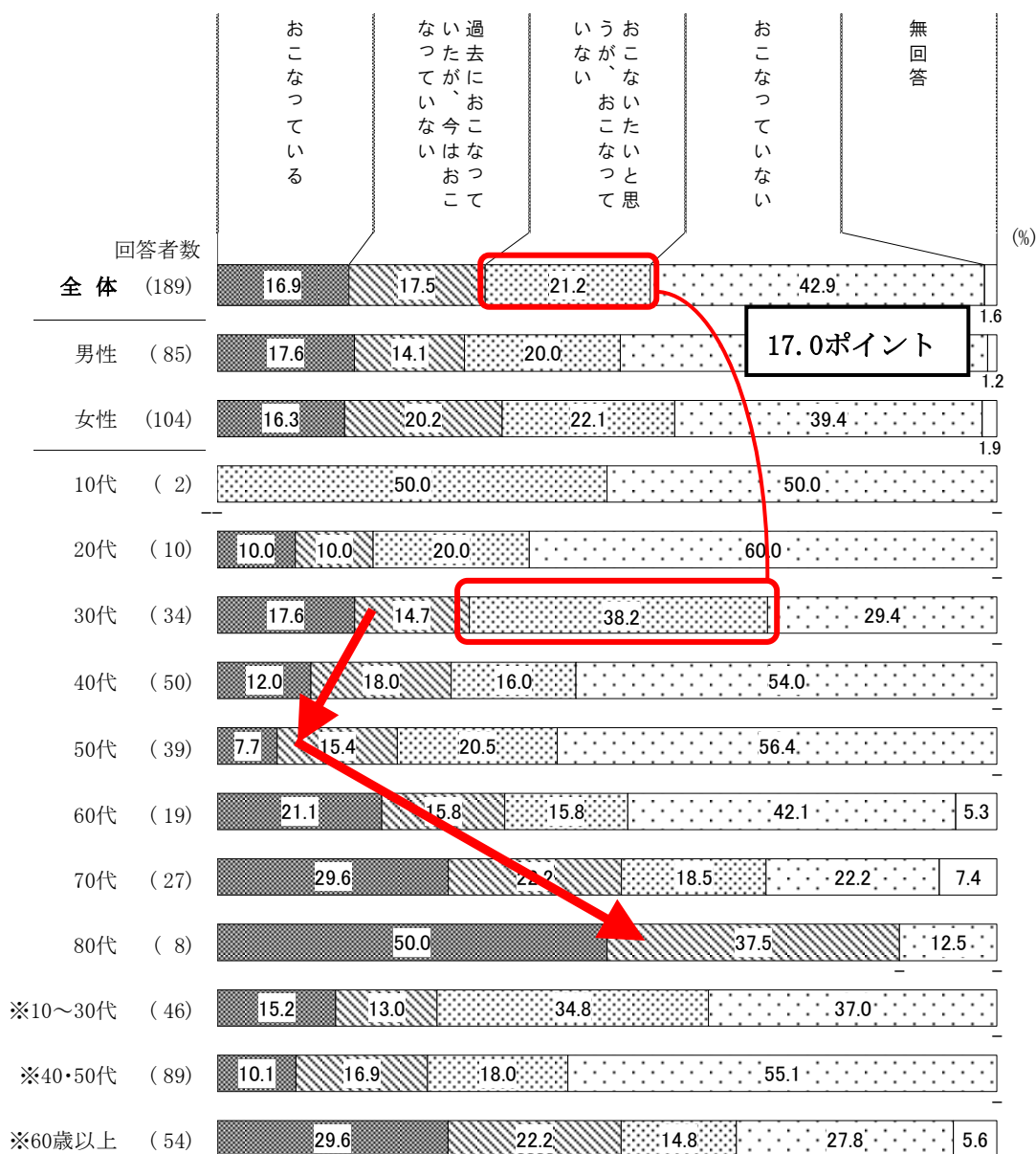


(5) 趣味やサークルなどの芸術活動は、30～50代にかけて減少、60代以降増加している

趣味やサークル活動など芸術活動に関する普段の活動状況を年代別に見たとき、「おこなっている」と答えた割合は30代から50代になるにつれて減少している。また、50代が一番低く7.7%であり、年齢が高くなると割合も高くなる傾向があった。

なお、「おこないたいと思うが、おこなっていない」と答えた年齢層は30代が一番多く38.2%であり、全体の21.2%と比較して17ポイント高かった。

＜性別・年代別／趣味やサークルなど芸術活動に関する普段の活動状況＞

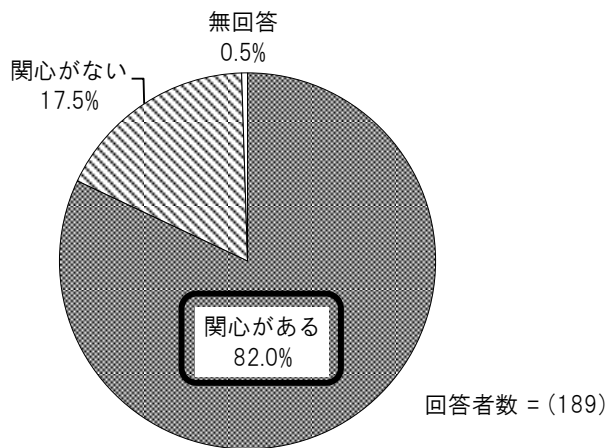


(6) 区内伝統芸能や文化財への関心は8割、誇りに思う方の6割と比べ、観たり聴いたりの体験は4割と低い

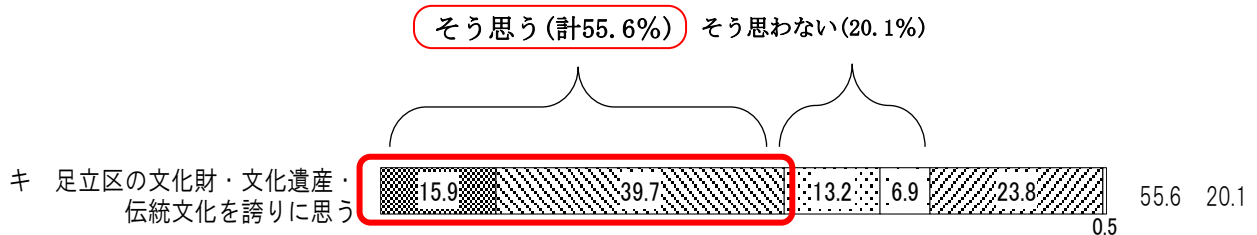
居住地域の伝統芸能や文化財に関心があると回答した人は82.0%であり、高い数値となった。また、文化芸術について、どのように感じるかの調査には、区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思うという回答が約6割と半数を超える結果となった。

しかし、実際に観たり聴いたりした体験があると答えた人は、関心があると答えた人の44.5%であり、関心があっても、半数以上は観たり聴いたりしていないという結果であった。

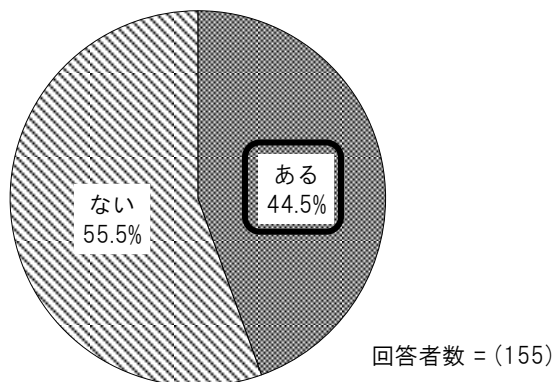
<居住地域の伝統芸能や文化財への関心の有無>



<文化芸術について、どのように感じるか>



<居住地域の伝統芸能や文化財を観たり聴いたりした体験の有無>

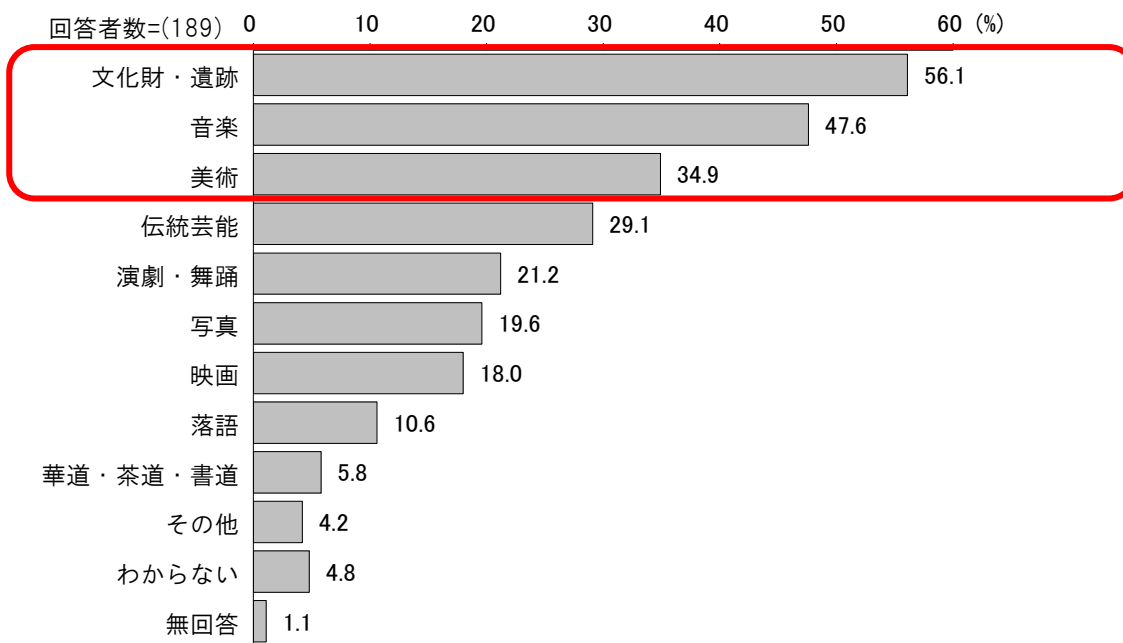


(7) 今後重要だと思う分野の上位3位は「文化財・遺跡」56.1%「音楽」47.6%「美術」34.9%である

文化芸術事業にとって、重要だと思う分野を調査したところ、上位3つは「文化財・遺跡」「音楽」「美術」となった。特に「文化財・遺跡」については5割を超える結果となった。

また、今後の足立区の文化芸術事業で力を入れてほしいものについての自由記述での回答は、「文化財・遺跡」と「美術・アートのイベント」に関するものが多かった。

<今後の区の文化芸術事業にとって、重要だと思うもの>



<今後の区の文化芸術事業で力を入れてほしいもの>

文化財・遺跡	33件
美術・アートのイベント	25件
無料のイベント・気軽に参加できるイベント等	21件
子供向けイベント	19件
音楽	16件
演劇・舞踊	11件
写真	8件
映画	7件
オンラインイベント等	5件
その他のご意見	27件
※区のPRが不足している	(19件)

(8) イベントや作品を知るきっかけは、すべての分野でインターネットが5割を超えている。伝統芸能などは広報、写真はSNSが多く、分野ごとの傾向が見られた

イベントや作品を知ったきっかけについて、文化芸術の分野別にみると「インターネットで調べて」はすべての分野で半数以上であった。

また、「落語」「華道・茶道・書道」「伝統芸能」の「広報を見て」は全体より20ポイント以上高い傾向が見られた。「写真」分野については、「SNSを利用して」「チラシを見て」がきっかけとして高い傾向が見られた。

<分野別／文化芸術作品を知ったきっかけ>

	調査数	(上段：人数 下段：%)										
		インターネットで調べ	テレビやラジオなどの 宣伝を聞いて	雑誌や新聞を見て	人から話を聞いて	広報を見て	SNSを利用して	チラシを見て	ポスターを見て	その他	情報は集めていない	無回答
全体	125	74	43	40	39	37	30	28	28	4	3	1
	100.0	59.2	34.4	32.0	31.2	29.6	24.0	22.4	22.4	3.2	2.4	0.8
音楽	77	49	30	27	24	29	23	19	18	2	2	1
	100.0	63.6	39.0	35.1	31.2	37.7	29.9	24.7	23.4	2.6	2.6	1.3
美術	66	47	24	21	18	21	18	21	18	3	1	-
	100.0	71.2	36.4	31.8	27.3	31.8	27.3	31.8	27.3	4.5	1.5	-
写真	26	19	9	7	8	7	12	10	9	1	1	-
	100.0	73.1	34.6	26.9	30.8	26.9	46.2	38.5	34.6	3.8	3.8	-
落語	20	10	9	11	7	12	6	6	6	-	1	-
	100.0	50.0	45.0	55.0	35.0	60.0	30.0	30.0	30.0	-	5.0	-
華道・茶道・書道	14	7	4	7	6	8	4	4	7	1	1	-
	100.0	50.0	28.6	50.0	42.9	57.1	28.6	28.6	50.0	7.1	7.1	-
演劇・舞踊	35	24	11	14	11	14	8	10	13	-	1	-
	100.0	68.6	31.4	40.0	31.4	40.0	22.9	28.6	37.1	-	2.9	-
映画	74	49	29	30	23	21	20	15	18	2	1	-
	100.0	66.2	39.2	40.5	31.1	28.4	27.0	20.3	24.3	2.7	1.4	-
伝統芸能	18	10	5	6	8	10	6	5	6	-	1	-
	100.0	55.6	27.8	33.3	44.4	55.6	33.3	27.8	33.3	-	5.6	-
文化財・遺跡	43	27	16	16	13	19	12	11	19	1	1	-
	100.0	62.8	37.2	37.2	30.2	44.2	27.9	25.6	44.2	2.3	2.3	-
その他	5	2	1	-	2	3	2	2	2	-	-	-
	100.0	40.0	20.0	0.0	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	-	-	-
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

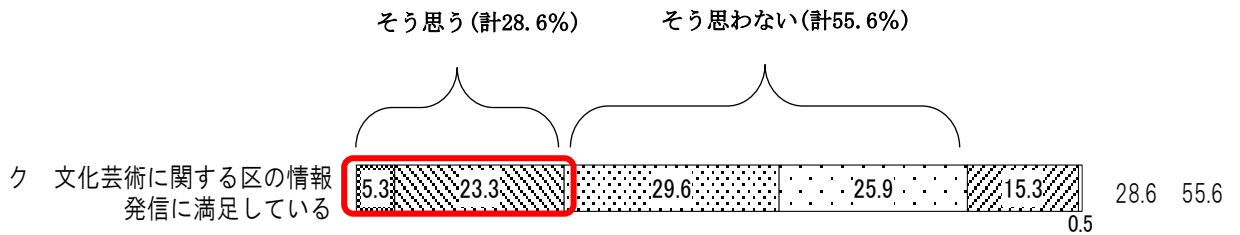
全体より10ポイント以上高い

※「その他」については調査数(n)が少ないため、分析では触れていません。

(9) 区の文化芸術事業の情報発信に満足と答えた方は3割と低い

文化芸術について、どのように感じるかの調査は、区の情報発信に満足しているかという問いに、そう思うという回答が28.6%と少数であった。

<文化芸術について、どのように感じるか>



2 今後の方針

(1) 日常生活の中で触れる文化芸術の事業の提供

ア 現状

- (ア) 過去一年間に、「文化ホール・美術館等やイベントに行かなかった」や、「オンラインやWEBやテレビにより、文化芸術の作品を観たり聴いたりしなかった」割合は、コロナ禍以前の状況へと回復傾向である。
- (イ) 観たり聴いたりしなかった理由の調査では「新型コロナウイルスの影響のため」が7割であり、依然としてコロナ禍の影響がある。ほかの理由としては、「子どもに手がかかるから」「お金の余裕がないから」などが挙げられている。
- (ウ) 「足立区の文化芸術事業を評価できる」と回答した人は52.4%であったことに對し、「足立区の子どもに対する文化芸術事業について評価できる」と回答した人は39.2%であり、13.2ポイントの差があった。足立区の子どもに対する文化芸術事業が区民の評価へつながっていないと読み取ることができる。
- (エ) 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験の有無は、10～30代は全体の割合に比べ、11.8ポイント低いという結果であった。
- (オ) 令和3年度に実施した「文化・読書・スポーツに関するアンケート調査」では、子どもが文化芸術に親しむきっかけとして「親に連れて行ってもらえる」が27.9%と最も多かった。

イ 課題

- (ア) 新型コロナウイルスの影響により、全体の約2割の人が文化芸術の作品を観たり聴いたりすることに慎重になっている。
- (イ) 子どもに対する足立区の文化芸術事業は、東京藝大と連携した音楽教育支援事業としての小学校への出前授業、文化のちから体験会の子ども向け公演などを行っているものの、区全体の評価につながっていない。

ウ 今後の取り組み

感染症対策を継続し、ウィズコロナを念頭に置いた文化芸術事業をすすめて、文化芸術に触れる機会を創出する。

- (ア) 手ごろで身近な文化芸術事業の継続実施
 - a ギャラクシティで実施しているストリートピアノや、藝大連携事業コンサートの公共施設でのアウトリーチ（令和4年度は中央図書館・郷土博物館）など、「日常生活の中で触れる文化芸術の事業」として、幅広い年齢層が身近で手ごろに文化芸術を楽しめる事業を継続展開していく。
- (イ) 子どもたちへ芸術性の高い公演に触れる機会の提供
 - a 子どもに対する文化芸術事業として、すべての区立小学校5年生が劇団四季の公演を観劇する「芸術鑑賞体験事業」など、芸術性の高い公演を子どもたちに提供する事業を継続実施し、保護者の同行がなくても子どもたちが文

化芸術の「楽しさ」「面白さ」を体験できる機会を創出していく。

- b 東京藝術大学と連携した事業がわかりやすくなるよう、ホームページの内容を工夫し再編することによって広く周知するとともに、音楽教育支援事業の演奏会等実施の際に、「学校だより」等により足立区の事業取り組みを保護者等へ周知していく。また、動画配信は、配信前の広報等に加え、配信後についても幅広く情報発信していく。

(2) 芸術活動や体験を支援

ア 現状

- (ア) 芸術活動に関する普段の状況を年代別に見たとき、「おこなっている」と答えた割合は30代から50代にかけて減少している。50代が一番低く7.7%であり、60代以降年齢が高くなると割合も高くなる傾向があった。
- (イ) 「おこないたいと思うが、おこなっていない」と答えた年齢層は30代が一番高く38.2%であり、全体の21.2%と比較して17ポイント高かった。30代は芸術活動をおこなう意欲はあるが、様々な理由でできない方が多いと考えられる。
- (ウ) 30代を男女別でみた場合、「おこないたいと思うが、おこなっていない」と答えた女性は43.5%であり、芸術活動への意欲が行動へつながっていないと考えられる。
- (エ) 女性の40代、50代の「過去におこなっていたが、今はおこなっていない」と答えた割合がそれぞれ28.0%、22.7%であったのに対し、男性の40代、50代は8.0%、5.9%であった。40代、50代の特に男性は、過去および現在の芸術活動においてもあまりおこなっていないことが読み取れる。

イ 課題

- (ア) 30代は文化芸術活動を「おこないたいと思うが、おこなっていない」と答えた方が4割弱である。今回のアンケートでは原因について深掘りしていないため、今後原因を追究しつつ、この方々を文化活動に結び付ける支援やきっかけづくりが必要である。
- (イ) 30代から年齢が高くなると、芸術活動をおこなっている割合が減少し、50代は最も少ない。これらの減少を抑えるためにも、働く世代が気軽に文化芸術に触れられる機会を提供するとともに、今後、減少していく原因を深掘りしていく。

ウ 今後の取り組み

- (ア) 時間がなくても気軽に文化芸術へ触れられる機会の提供
 - a 日常的に無料で文化芸術の体験機会が得られる事業として、ストリートピアノや藝大連携事業のアウトリーチを提供していく。
 - b 漫画に親しみのある世代に伝わりやすい「ビビビ美アダチ」のように、気軽に文化芸術に触れられるような機会の提供をする。

- c 家にも楽しめる「藝大連携事業コンサート」、郷土博物館の「360° 動画」、地域の伝統行事「じんがんなわ」、ギャラクシティの「ストリートピアノ」などの動画配信や「ビビビ美アダチ」でのSNSのように、幅広い情報を区内外へ発信していく。

(イ) 文化芸術の活動者への支援

- a 若い世代が主体の「エンターテインメントチャレンジャー支援事業」では施設貸し出しや無料公演の開催、えんチャレまつりで活動を支援している。また、「フリーステージ足立」のような個人自由参加のイベントなどを通じて、区民の自発的な文化事業の創出につなげ、広報や後援などの支援も実施していく。

(3) リアルとデジタルを活用した文化財・伝統芸能の発信

ア 現状

- (ア) 区内の伝統芸能や文化財に関心があると回答した人の割合は82.0%と高い割合だった。
- (イ) 区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思っているという回答の割合は55.6%であり、半数を超える結果となった。
- (ウ) 多くの人が文化財等へ関心や誇りを感じていることがわかった。しかし、関心がある人のうち5割を超える人が、観たり聴いたりしたことはないという調査結果であった。
- (エ) 文化芸術事業にとって、重要だと思ふ分野を調査したところ、上位3つは「文化財・遺跡」「音楽」「美術」となった。特に「文化財・遺跡」については5割を超える結果となった。

イ 課題

- (ア) 文化財等へ関心がある人のうち5割を超える人が、観たり聴いたりしたことはないという調査結果であったことから、区の事業として、文化財の保存に加え、区民が実際に文化財や伝統芸能に触れるような取り組みが必要だと考える。

ウ 今後の取り組み

- (ア) デジタルの活用は気軽に文化芸術へ接する体験ができると考えられる。マンガを活用した「ビビビ美アダチ」のように、デジタルをきっかけに実物を見る機会を増やしていく。
- (イ) 区制90周年を記念した郷土博物館特別展は多方面から高い評価を得た。また、開催の際にホームページ特設サイトへ掲載した電子展覧会についても、広く機会を提供できたと言える。そのような好事例にならい、今後、足立区の文化財を紹介する文化財デジタルマップ（仮）の実現に向け早期に検討していく。

(4) 分野に合わせた効果的な情報発信

ア 現状

- (ア) 文化芸術に関するイベントや作品を知ったきっかけについて、分野別にみると「インターネットで調べて」はすべての分野で半数以上であった。
- (イ) 「落語」「華道・茶道・書道」分野において、「広報」をきっかけとしたのはそれぞれ、60.0%、57.1%であり、「インターネット」よりそれぞれ10ポイント、7.1ポイント高い割合となった。
- (ウ) 「写真」分野においては「SNSを見て」が46.2%と全体平均より20ポイント以上高い結果となった。

イ 課題

- (ア) 文化芸術の分野によって知ったきっかけの媒体が異なるとわかったことから、今後効果的な媒体を分析する必要がある。

ウ 今後の取り組み

- (ア) 文化芸術の分野によって効果的な情報発信の方法が異なることから、広報・インターネット・SNSを分野に合わせ強弱をつけ、情報発信を行っていく。
- (イ) ポスター・チラシをきっかけとする人も一定数以上いることから、引き続き活用していく。

第3章 調査結果の詳細

設問体系と回答の概要

1. **文化芸術の関心度** P25
 - (1) 「関心がある」 92.6%
 - (2) 「関心がない」 2.6%

2. **文化芸術に関心がある分野** P27
 - (1) 「音楽」 84.6%
 - (2) 「映画」 74.3%
 - (3) 「美術」 68.0%

3. **文化芸術に関心を持つようになったきっかけ** P28
 - (1) 「テレビや新聞などの宣伝・広告を見て」 45.7%
 - (2) 「ドラマや映画を通じて」 41.1%

4. **過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験** P29
 - (1) 「観たり、聴いたりした」 66.1%
 - (2) 「したかったが、できなかった」 22.8%

5. **文化芸術の作品を観たり聴いたりした分野** P31
 - (1) 「音楽」 61.6%
 - (2) 「映画」 59.2%
 - (3) 「美術」 52.8%

6. **イベントや作品を観たり聴いたりした場所** P32
 - (1) 「オンラインやWEBなど」 30.4%
 - (2) 「ギャラクシティ（こども未来創造館）」 20.0%

7. **作品を観たり、聴いたりしたきっかけ** P33
 - (1) 「テレビや新聞などで話題になっていたから」 44.0%
 - (2) 「自分の好きな作家やアーティストの作品だから」 34.4%

8. **観たり、聴いたりしたイベントや作品を知ったきっかけ** P34
 - (1) 「インターネットで調べて」 59.2%
 - (2) 「テレビやラジオなどの宣伝を聞いて」 34.4%
 - (3) 「雑誌や新聞を見て」 32.0%
 - (4) 「人から話を聞いて」 31.2%

9. 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりしなかった理由 P36

- (1) 「新型コロナウイルスの影響のため」 70.3%
- (2) 「子どもに手がかかるから」 18.8%

10. 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加の有無 . . . P37

- (1) 「ない」 63.5%
- (2) 「ある」 34.9%

11. 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座の参加場所 P39

- (1) 「ギャラクシティ（こども未来創造館）」 42.4%
- (2) 「地域学習センター」 33.3%
- (3) 「生涯学習センター」 33.3%

12. 参加したイベントや講座の場所・内容 P40**【内容】**

- (1) 「趣味等の（体験）教室」 34件
- (2) 「音楽・演劇鑑賞」 28件

13. イベントや講座の参加後に文化芸術についておこなったこと P41

- (1) 「体験した分野について自分で調べたり、学んだりした」 25.8%
- (2) 「体験した分野の作品を文化ホールや美術館などで観たり、聴いたりした」 18.2%

14. 趣味やサークルなどの芸術活動に関わる普段の活動状況 P42

- (1) 「おこなっていない」 42.9%
- (2) 「おこないたいと思うが、おこなっていない」 21.2%
- (3) 「おこなっている」 16.9%

15. 趣味やサークルなどの芸術活動の内容 P43

- (1) 「サークルやグループで」 50.8%
- (2) 「自宅で趣味として」 43.1%
- (3) 「習い事として」 43.1%

16. 区内や居住地域の伝統芸能や文化財への関心の有無 P44

- (1) 「関心がある」 82.0%
- (2) 「関心がない」 17.5%

17. 区内や居住地域の伝統芸能や文化財を見たり聞いたりした体験の有無 P46

- (1) 「ない」 55.5%
- (2) 「ある」 44.5%

18. 観たり聴いたり体験した伝統芸能や文化財の内容・・・・・・・・・・ P47

- (1) 「地域の文化財を観たことがある」 68.1%
- (2) 「地域の祭事など年中行事に参加したことがある」 42.0%
- (3) 「地域に伝わる伝統芸能を見たり聴いたりしたことがある」 36.2%

19. 今後の区の文化芸術事業にとって重要だと思う分野・・・・・・・・・・ P48

- (1) 「文化財・遺跡」 56.1%
- (2) 「音楽」 47.6%
- (3) 「美術」 34.9%

20. 今後の区の文化芸術事業で力を入れてほしいもの・・・・・・・・・・ P49

【分野別の意見数】

- (1) 「文化財・遺跡」 33件
- (2) 「美術・アートのイベント」 25件
- (3) 「無料のイベント・気軽に参加できるイベント等」 21件
- (4) 「子供向けイベント」 19件

21. アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え・・・・・・・・・・ P50

- (1) 「どちらかといえばそう思う」 47.1%
- (2) 「そう思う」 39.7%

22. 文化芸術について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P51

(1) 【そう思う（計）】

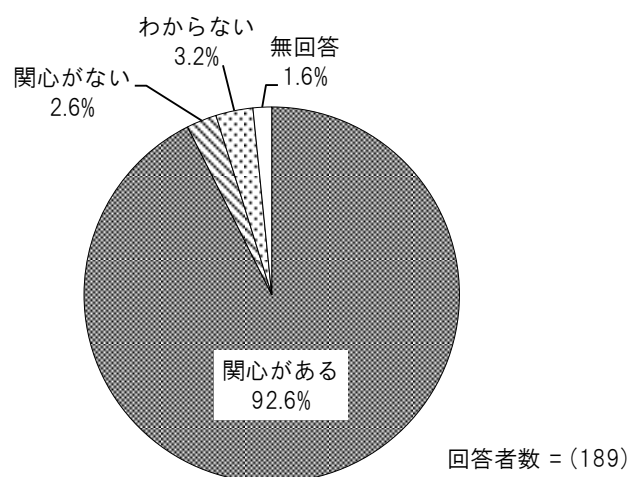
- ア 「足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う」 55.6%
- イ 「足立区の文化芸術事業を評価できる」 52.4%
- ウ 「足立区は文化芸術活動が行いやすい」 41.3%

(2) 【そう思わない（計）】

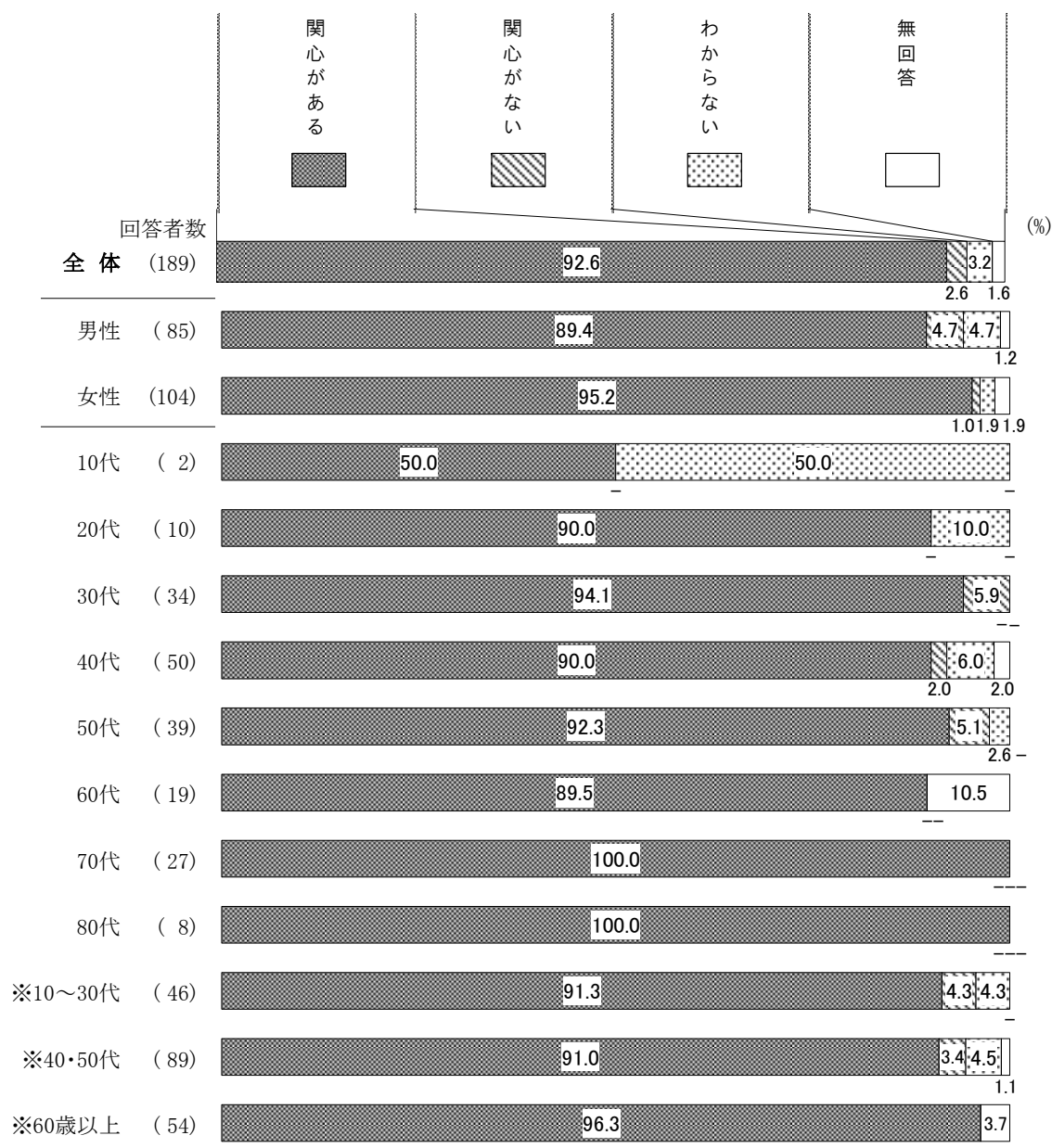
- ア 「文化芸術に関する区の情報発信に満足している」 55.6%
- イ 「足立区の連携事業及び交流の機会は充実している」 44.4%
- ウ 「足立区は文化芸術活動への支援を十分にしている」 37.0%

1 文化芸術の関心度

問1 あなたは文化芸術を観たり・聴いたり・創作することに関心がありますか
(〇は1つだけ)。



文化芸術の関心度は、「関心がある」が92.6%で、「関心がない」は2.6%となっています。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

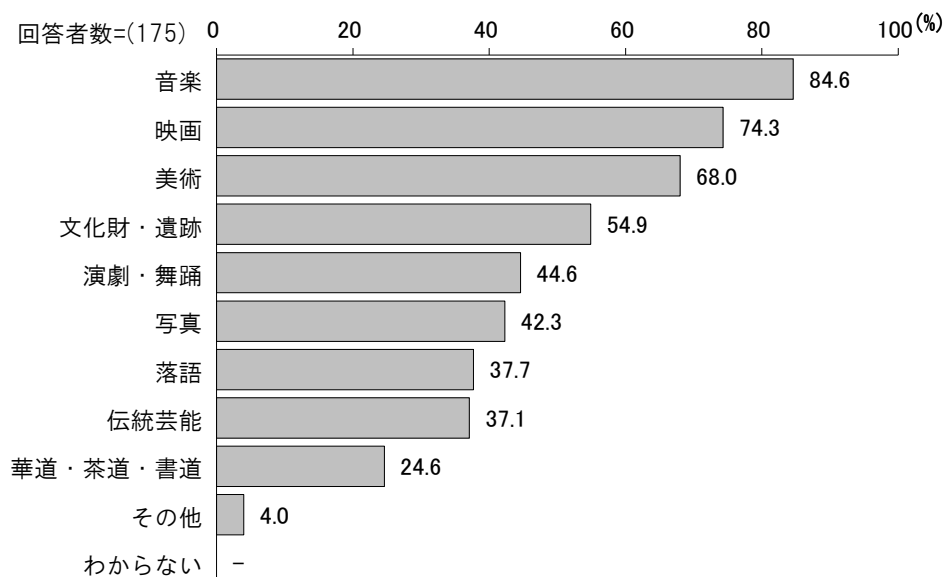
文化芸術の関心度を性別にみると、「興味がある」は女性(95.2%)の方が男性(89.4%)より5.8ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「興味がある」は“※60歳以上”が96.3%で、“※10~30代”(91.3%)、“※40・50代”(91.0%)に比べて5ポイント以上高くなっています。

2 文化芸術に関心がある分野

(問1で「1 関心がある」とお答えの方に)

問1-1 あなたは、どのような分野に関心がありますか(〇はいくつでも)。



文化芸術に“関心がある”とお答えの方に、どのような分野に関心があるかを聞いたところ、「音楽」が84.6%で最も高く、次いで「映画」(74.3%)、「美術」(68.0%)「文化財・遺跡」(54.9%) などとなっています。

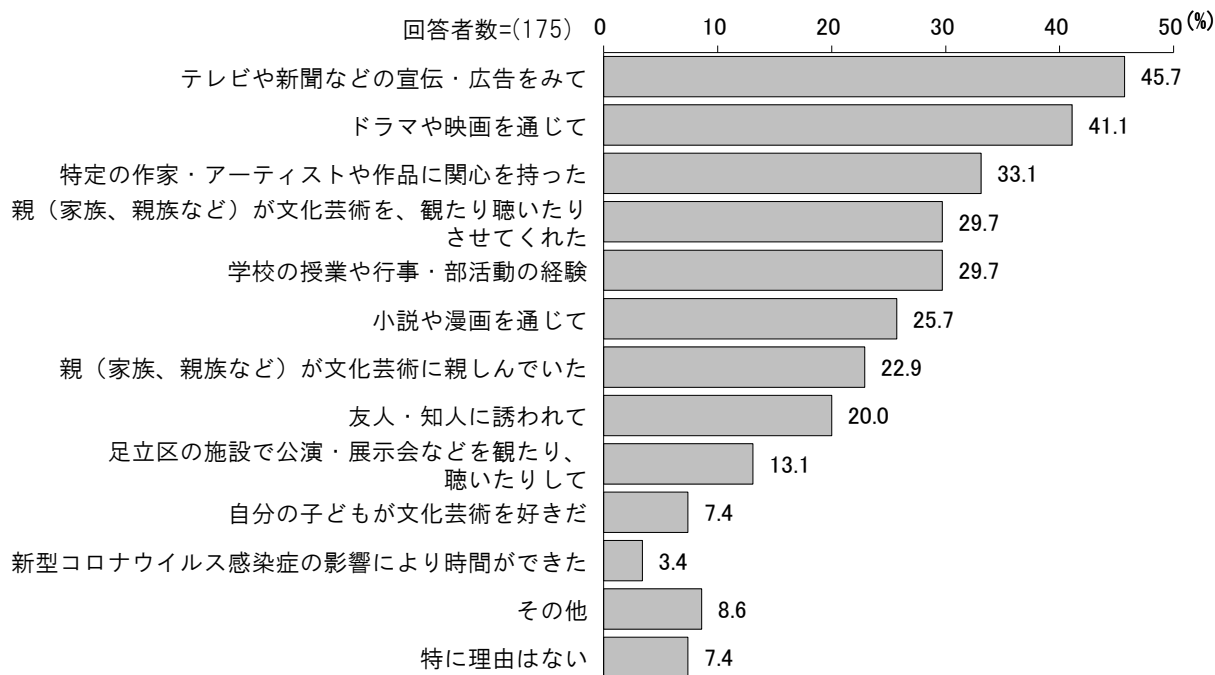
最も高い「音楽」を年代層別にみると、すべての年代層で8割を超えて高くなっています。

3 文化芸術に関心を持つようになったきっかけ

(問1で「1 関心がある」とお答えの方に)

問1-2 あなたが文化芸術に関心を持つようになったきっかけは何ですか

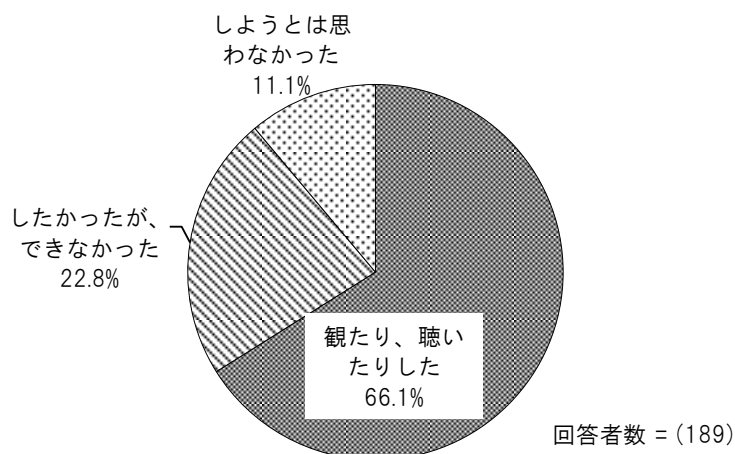
(〇はいくつでも)。



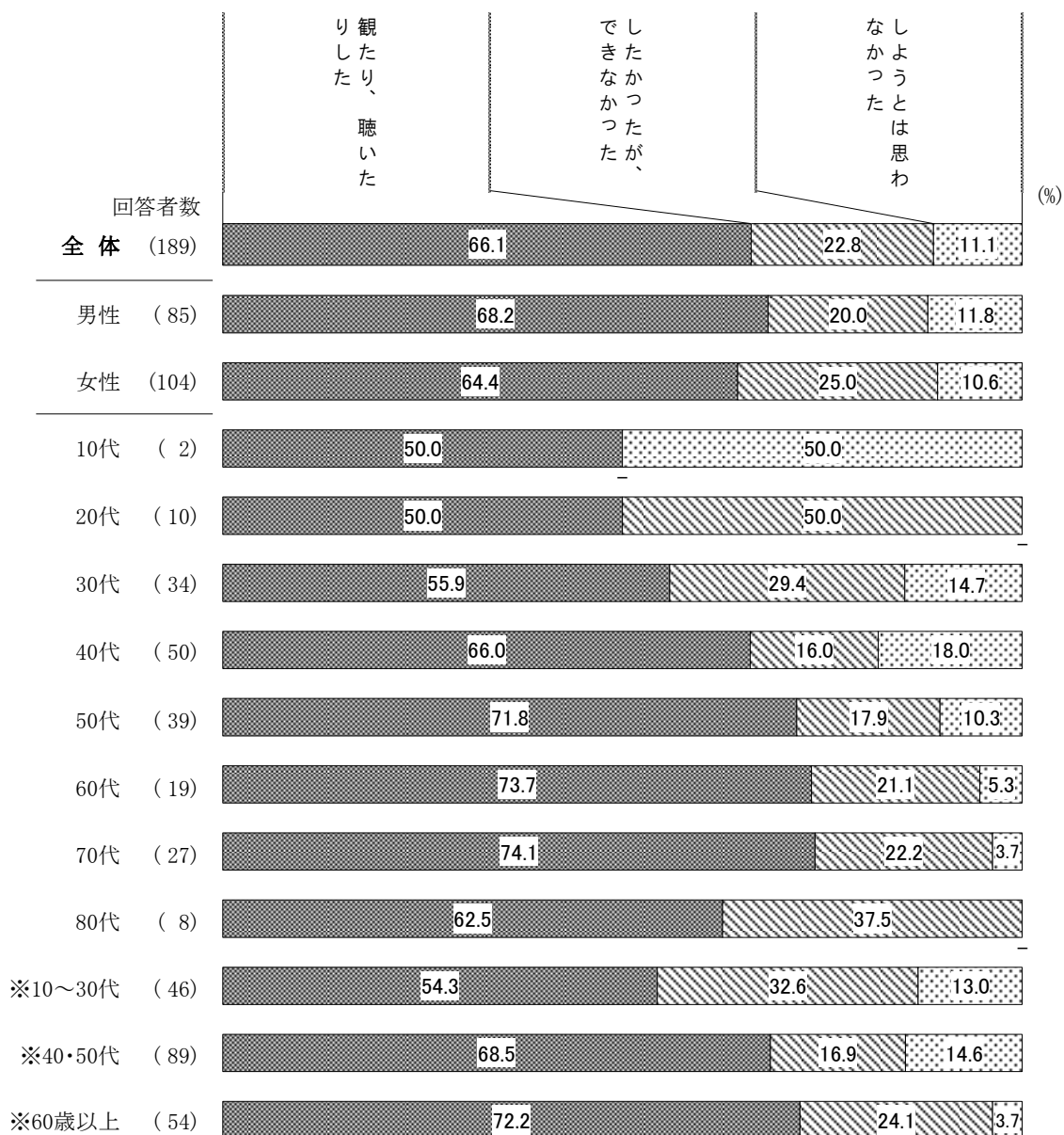
文化芸術に“関心がある”とお答えの方に、文化芸術に関心を持つようになったきっかけを聞いたところ、「テレビや新聞などの宣伝・広告を見て」が45.7%で最も高く、次いで「ドラマや映画を通じて」(41.1%)、「特定の作家・アーティストや作品に関心を持った」(33.1%) などとなっています。

4 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験

問2 芸術鑑賞活動について伺います。あなたは過去一年間に、文化ホール・美術館等やイベントに行ったり、オンラインやWEBやテレビにより、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか（〇は1つだけ）。



過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験を聞いたところ、「観たり、聴いたりした」が66.1%と最も高く、「したかったが、できなかった」が22.8%、「しようとは思わなかった」が11.1%となっています。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験を性別にみると、「観たり、聴いたりした」は男性(68.2%)の方が女性(64.4%)より3.8ポイント高くなっています。

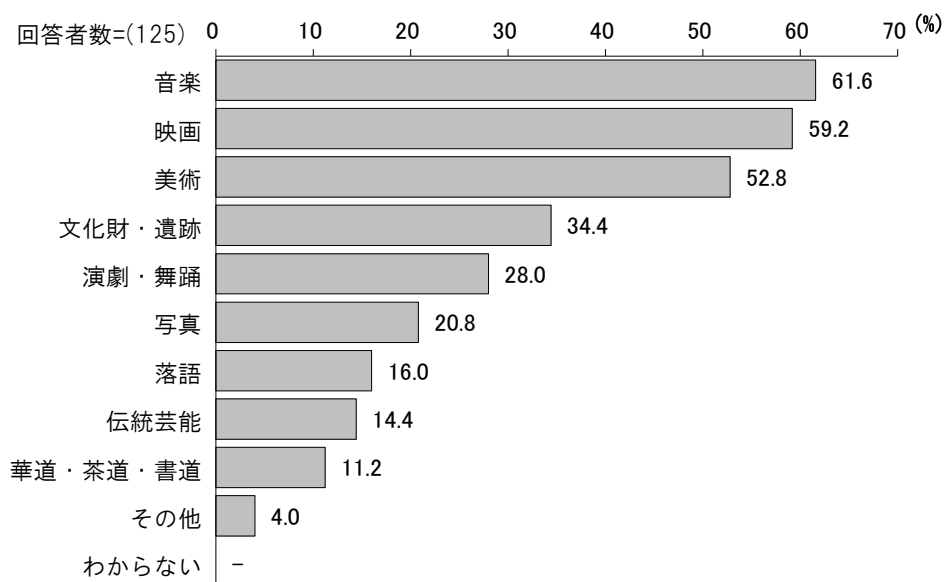
年代層別にみると、「観たり、聴いたりした」は「※60歳以上」が72.2%で最も高く、「できなかったが、」は「※10~30代」が32.6%で最も高くなっています。

5 文化芸術の作品を観たり聴いたりした分野

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-1 あなたは、どのような分野を観たり、聴いたりしましたか

(〇はいくつでも)。

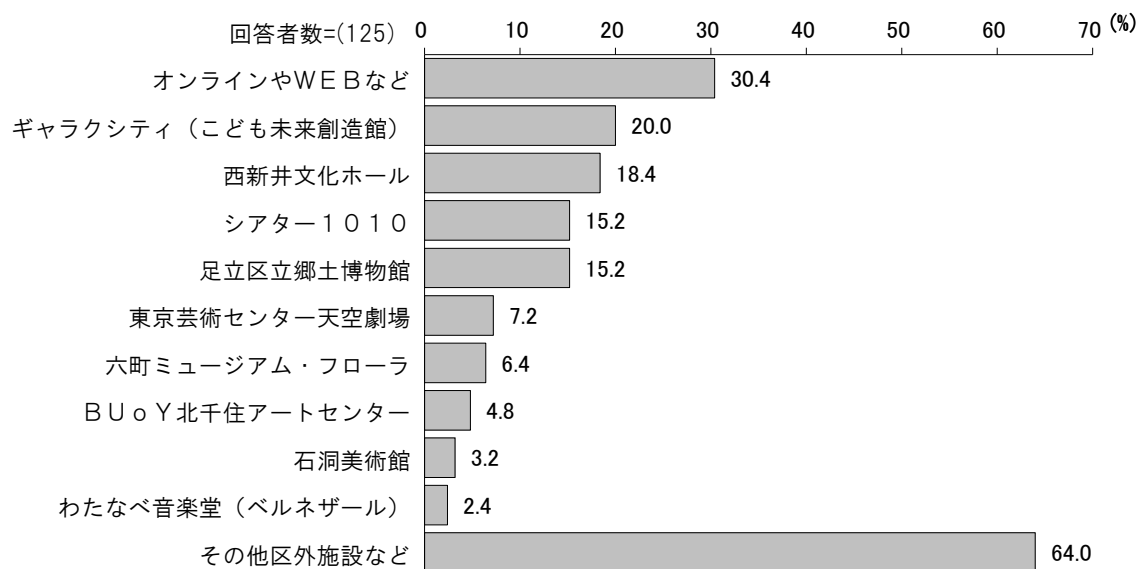


文化芸術の作品を“観たり、聴いたりした”とお答えの方に、どのような分野なのか聞いたところ、「音楽」が61.6%と最も高く、次いで「映画」(59.2%)、「美術」(52.8%)などとなっており、文化芸術に関心のある分野の回答が多かった分野の順と全て一致する結果となっています。

6 イベントや作品を観たり聴いたりした場所

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-2 あなたは、どこでそれらのイベントや作品を観たり、聴いたりしましたか
(〇はいくつでも)。

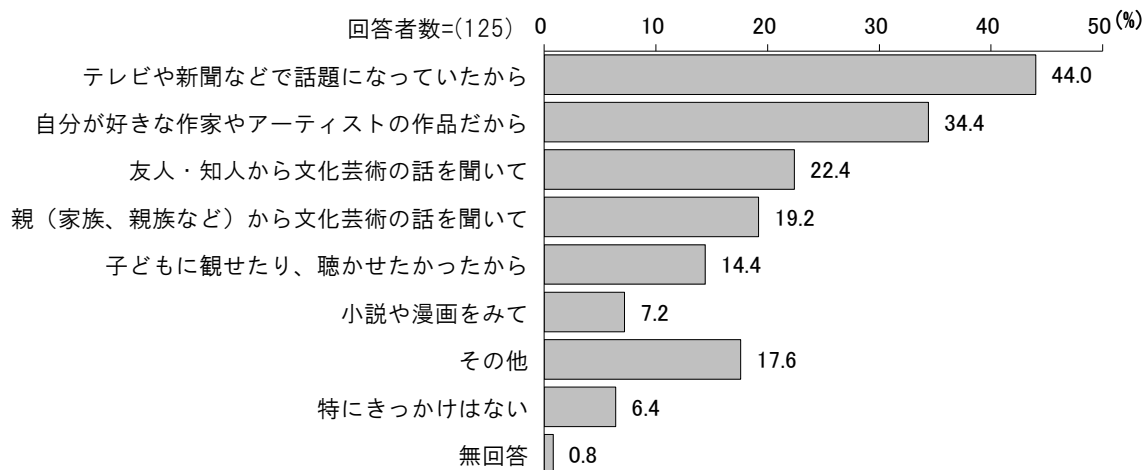


文化芸術の作品を“観たり、聴いたりした”とお答えの方に、その場所を聞いたところ、「その他区外施設など」が64.0%と最も高くなっています。区内の場所では、「オンラインやWEBなど」が30.4%と最も高く、次いで「ギャラクシティ (こども未来創造館)」(20.0%)、「西新井文化ホール」(18.4%) などとなっています。

7 作品を観たり、聴いたりしたきっかけ

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-3 あなたが作品を観たり、聴いたりしたきっかけは何ですか (〇はいくつでも)。

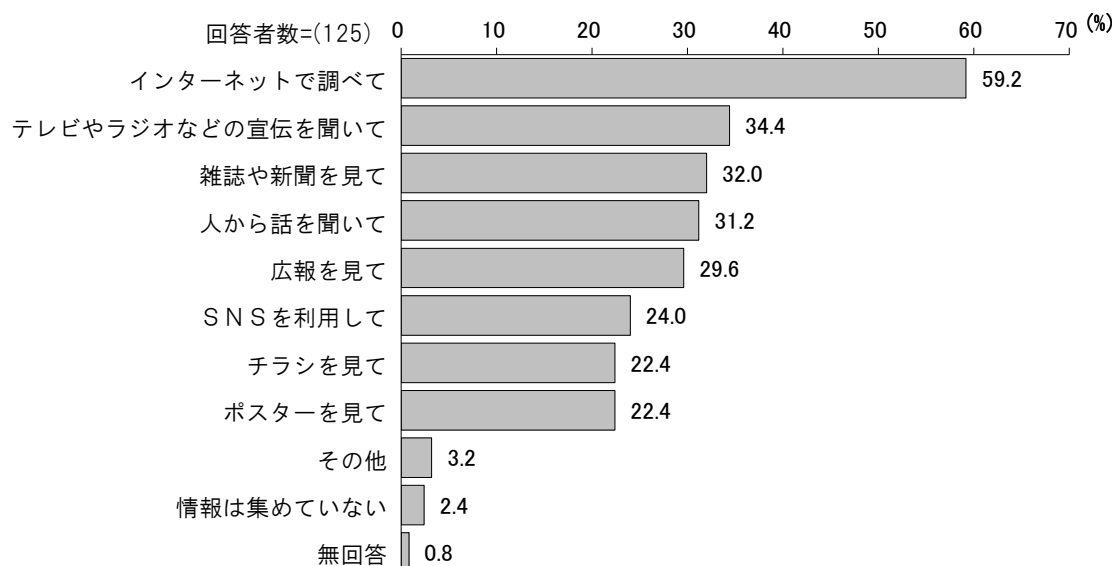


文化芸術の作品を“観たり、聴いたりした”とお答えの方に、作品を観たり、聴いたりしたきっかけを聞いたところ、「テレビや新聞などで話題になっていたから」が44.0%と最も高く、次いで「自分の好きな作家やアーティストの作品だから」(34.4%)、「友人・知人から文化芸術の話を聞いて」(22.4%)などとなっています。

8 観たり、聴いたりしたイベントや作品を知ったきっかけ

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-4 あなたは観たり、聴いたりしたイベントや作品の情報をどのように知りましたか (〇はいくつでも)。



文化芸術の作品を“観たり、聴いたりした”とお答えの方に、観たり、聴いたりしたイベントや作品を知ったきっかけを聞いたところ、「インターネットで調べて」が59.2%と最も高く、次いで「テレビやラジオなどの宣伝を聞いて」(34.4%)、「雑誌や新聞を見て」(32.0%)、「人から話を聞いて」(31.2%)、「広報を見て」(29.6%) などとなっています。

【問2 文化芸術の作品を観たり聴いたりした分野別】

(上段：人数 下段：%)

	調査数	インターネットで調べて	テレビやラジオなどの宣伝を聞いて	雑誌や新聞を見て	人から話を聞いて	広報を見て	SNSを利用して	チラシを見て	ポスターを見て	その他	情報は集めていない	無回答
全体	125 100.0	74 59.2	43 34.4	40 32.0	39 31.2	37 29.6	30 24.0	28 22.4	28 22.4	4 3.2	3 2.4	1 0.8
音楽	77 100.0	49 63.6	30 39.0	27 35.1	24 31.2	29 37.7	23 29.9	19 24.7	18 23.4	2 2.6	2 2.6	1 1.3
美術	66 100.0	47 71.2	24 36.4	21 31.8	18 27.3	21 31.8	18 27.3	21 31.8	18 27.3	3 4.5	1 1.5	-
写真	26 100.0	19 73.1	9 34.6	7 26.9	8 30.8	7 26.9	12 46.2	10 38.5	9 34.6	1 3.8	1 3.8	-
落語	20 100.0	10 50.0	9 45.0	11 55.0	7 35.0	12 60.0	6 30.0	6 30.0	6 30.0	-	1 5.0	-
華道・茶道・書道	14 100.0	7 50.0	4 28.6	7 50.0	6 42.9	8 57.1	4 28.6	4 28.6	7 50.0	1 7.1	1 7.1	-
演劇・舞踊	35 100.0	24 68.6	11 31.4	14 40.0	11 31.4	14 40.0	8 22.9	10 28.6	13 37.1	-	1 2.9	-
映画	74 100.0	49 66.2	29 39.2	30 40.5	23 31.1	21 28.4	20 27.0	15 20.3	18 24.3	2 2.7	1 1.4	-
伝統芸能	18 100.0	10 55.6	5 27.8	6 33.3	8 44.4	10 55.6	6 33.3	5 27.8	6 33.3	-	1 5.6	-
文化財・遺跡	43 100.0	27 62.8	16 37.2	16 37.2	13 30.2	19 44.2	12 27.9	11 25.6	19 44.2	1 2.3	1 2.3	-
その他	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	2 40.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-	-
わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全体より10ポイント以上高い

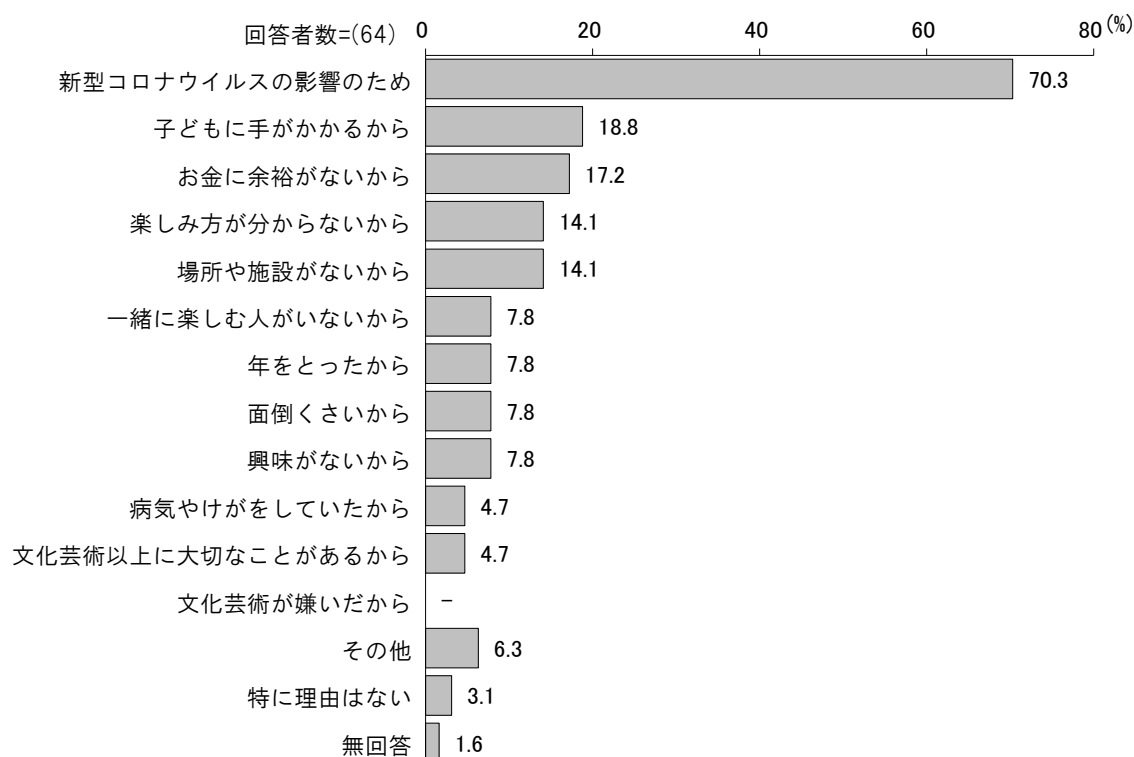
※「その他」については調査数(n)が少ないため、分析では触れていません。

イベントや作品を知ったきっかけについて、文化芸術の分野別にみると、「インターネットで調べて」は“美術”と“写真”が全体より10ポイント以上高く、「テレビやラジオなどの宣伝を聞いて」は“落語”で、「雑誌や新聞を見て」は“落語”と“華道・茶道・書道”でそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっています。また、「広報を見て」は“落語”、“華道・茶道・書道”、“伝統芸能”で全体より20ポイント以上と、全体では「インターネットで調べて」が群を抜いて高いとはいえ、分野によって媒体効果が異なることがうかがえます。

9 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりしなかった理由

(問2で「2 したかったが、できなかった」または「3 しようとは思わなかった」とお答えの方に)

問2-5 過去一年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等に行ったり、オンラインやWEBやテレビなどにより、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしなかった理由は何ですか（〇はいくつでも）。

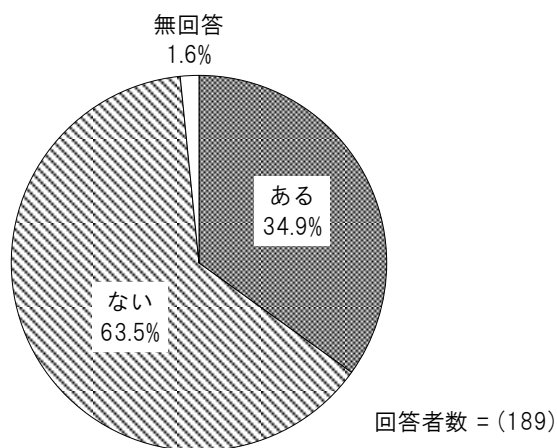


文化芸術の作品を観たり、聴いたりすることを、“したかったが、できなかった”または“しようとは思わなかった”とお答えの方に、その理由を聞いたところ、「新型コロナウイルスの影響のため」が70.3%と最も高く、次いで「子どもに手がかかるから」(18.8%)、「お金に余裕がないから」(17.2%) などとなっています。

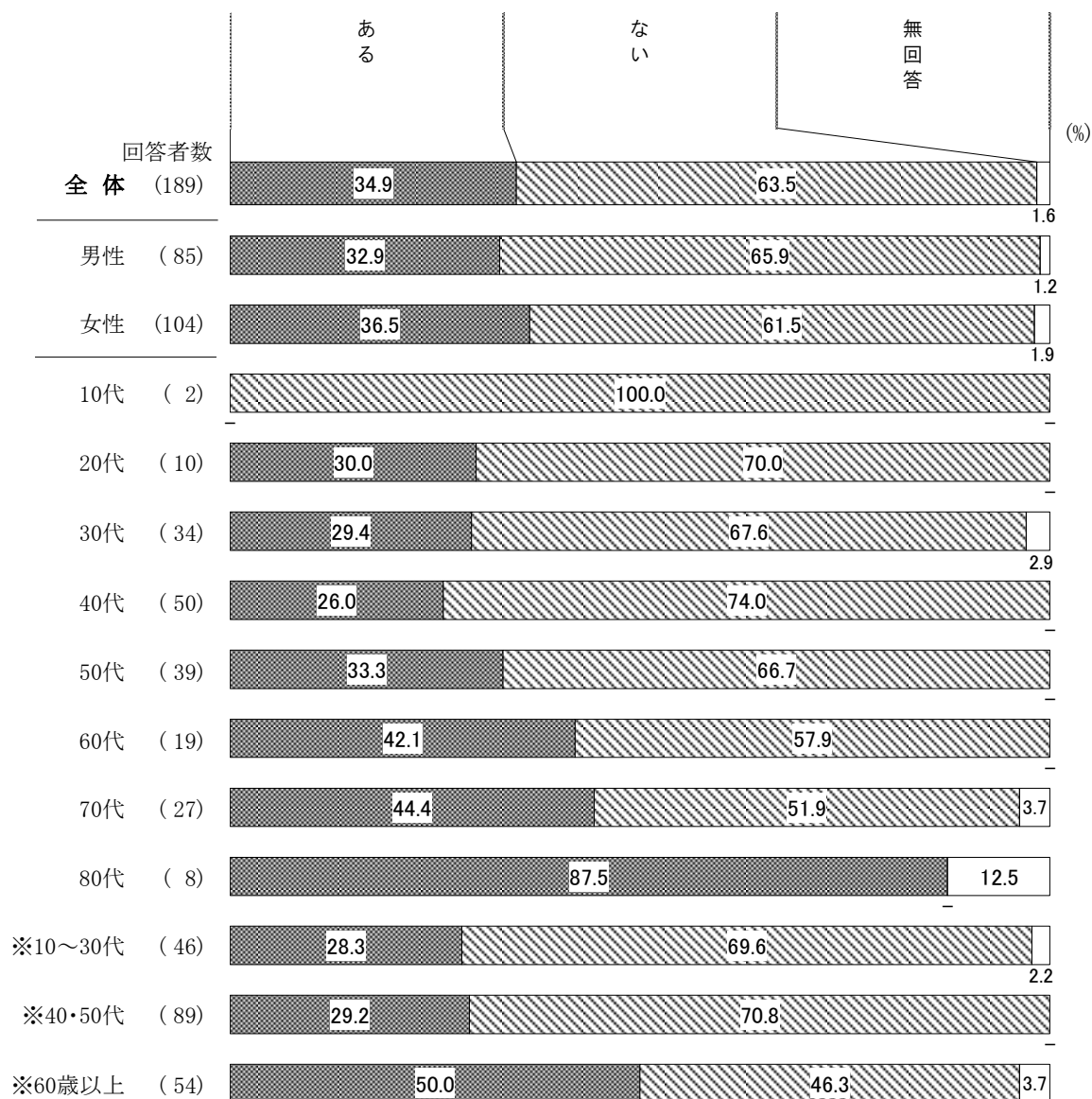
特に「子どもに手がかかるから」について年代別にみると、30代が60.0%と最も高くなっており、子育て中は文化芸術の作品を観たり、聴いたりすることが難しくなっています。

10 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加の有無

問3 あなたは、これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがありますか（○は1つだけ）。



文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加の有無を聞いたところ、「ない」が63.5%で、「ある」(34.9%)を大きく上回っています。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

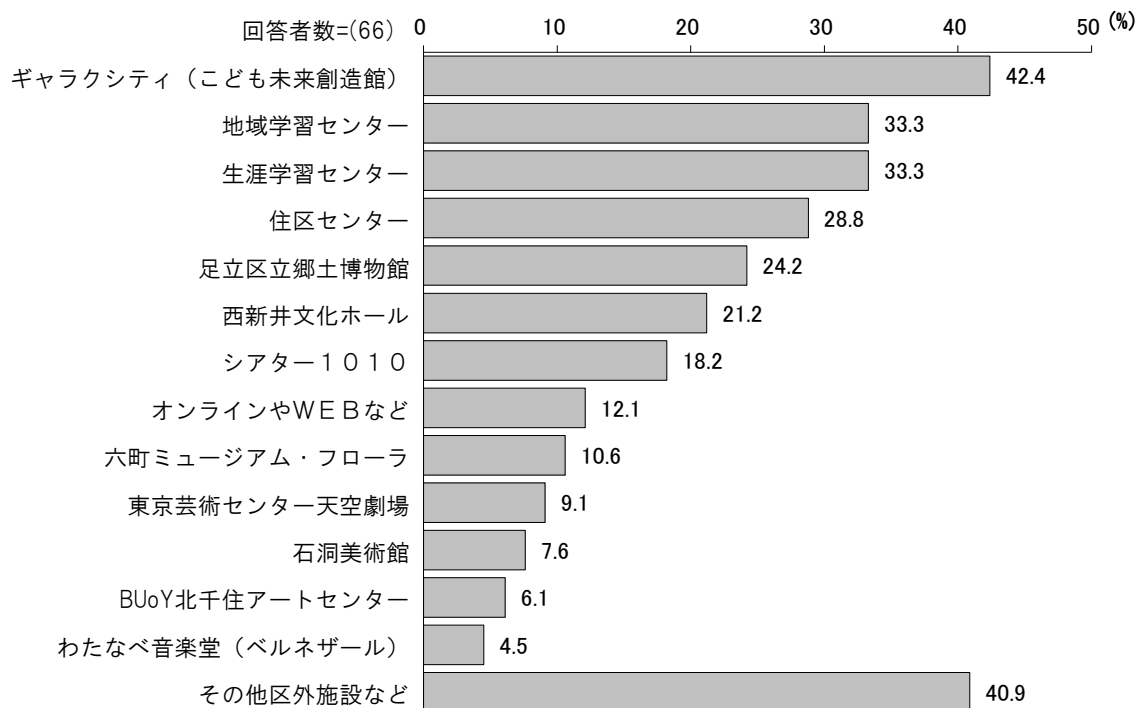
文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加の有無を性別にみると、「ある」は女性（36.5%）の方が男性（32.9%）より3.6ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「ある」は“※60歳以上”が50.0%で最も高く、“※10~30代”（28.3%）、“※40・50代”（29.2%）に比べて20ポイント以上高くなっています。

11 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座の参加場所

(問3で「1 ある」とお答えの方に)

問3-1 あなたは、どこで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加しましたか(〇はいくつでも)。



文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加が“ある”とお答えの方に、体験するイベントや講座に参加した場所を聞いたところ、区内施設については、「ギャラクシティ (こども未来創造館)」が42.4%と最も高く、「地域学習センター」と「生涯学習センター」(ともに33.3%)が3割台が続いています。なお、「その他区外施設など」は40.9%となっています。

12 参加したイベントや講座の場所・内容

(問3で「1 ある」とお答えの方に)

問3-2 あなたが参加したイベントや講座は、どのようなものですか。

※ オンラインイベントの場合は、開催場所を「オンラインイベント」としてください。

※延べ108件の回答より

	内 容	趣味等の 教室	音楽・ 演劇鑑賞	展示・ 作品展	セミナー ・講座	コンクール
場 所	108	34	28	22	17	7
1 生涯学習センター・ 地域学習センター	26	9	8		7	2
2 ギャラクシティ・ 西新井文化ホール	19	2	12		3	2
3 住区センター	9	7	1		1	
4 足立区立郷土博物館	9	1		7		1
5 仲町の家	4	1		2		1
6 東京芸術センター	3		1	1		1
7 シアター1010	3		2	1		
8 石洞美術館	2			2		
9 六町ミュージアム	2			2		
10 BUoY北千住ア ートセンター	2	1		1		
11 わたなべ音楽堂 (ベルネザール)	1		1			
12 都市農業公園	1				1	
13 伊興遺跡公園	1				1	
14 その他区内施設	3	3				
15 区外施設	16	6	1	5	4	
16 実施場所不明	5	4	1			
17 オンラインイベント	2		1	1		

文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加が“ある”とお答えの方に、具体的な場所と内容を聞いたところ、66名より延べ108件の回答をいただきました。

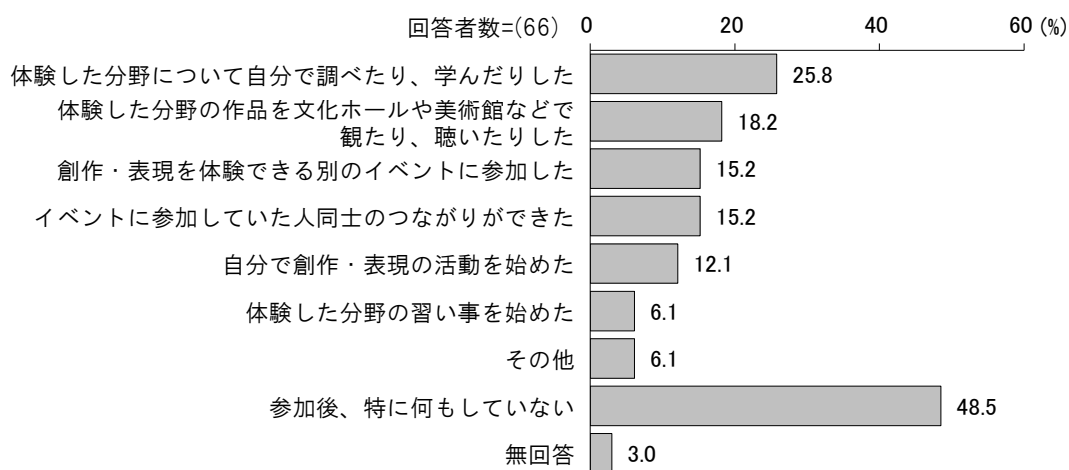
場所については前問と同様に“生涯学習センター・地域学習センター”、“ギャラクシティ・西新井文化ホール”が上位でした。内容としては、「趣味等の教室」が34件で最も多く、次いで、「音楽・演劇鑑賞」(28件)、「展示・作品展」(22件)などとなっています。

場所と内容の組み合わせでみると、“ギャラクシティ・西新井文化ホール”の「音楽・演劇鑑賞」が12件で最も多く、次いで、“生涯学習センター・地域学習センター”の「趣味等の教室」(9件)、“生涯学習センター・地域学習センター”の「音楽・演劇鑑賞」(8件)などとなっています。

13 イベントや講座の参加後に文化芸術についておこなったこと

(問3で「1 ある」とお答えの方に)

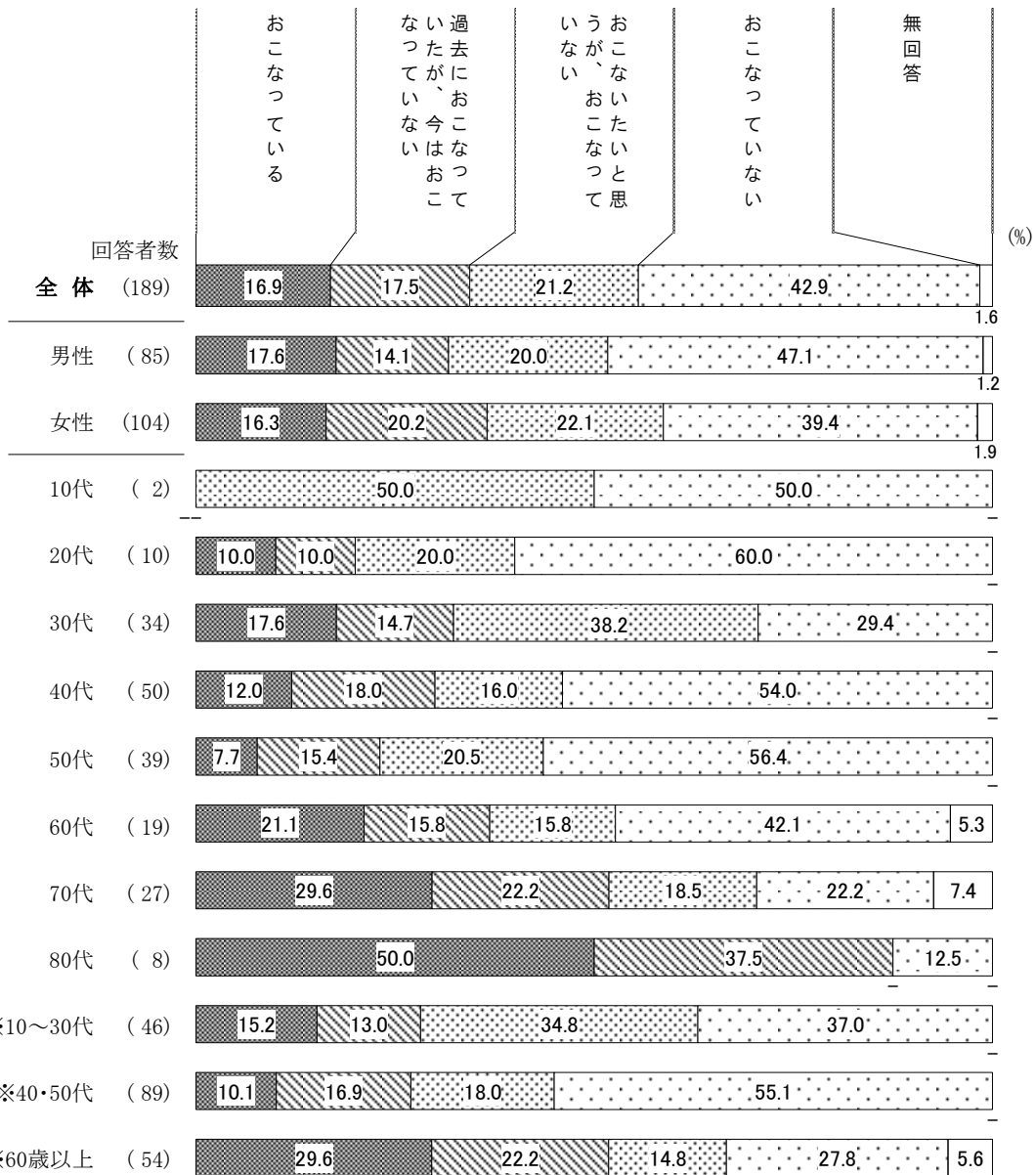
問3-3 あなたは、問3-1のイベントや講座の参加後に、何か文化芸術についておこなったことはありますか(〇はいくつでも)。



文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加が“ある”とお答えの方に、イベントや講座の参加後に文化芸術についておこなったことを聞いたところ、「体験した分野について自分で調べたり、学んだりした」が25.8%と最も高く、次いで「体験した分野の作品を文化ホールや美術館などで観たり、聴いたりした」(18.2%)、「創作・表現を体験できる別のイベントに参加した」(15.2%)などとなっています。

14 趣味やサークルなどの芸術活動に関わる普段の活動状況

問4 あなたは、趣味やサークルなど、普段から文化芸術に関わる活動をおこなっていますか（〇は1つだけ）。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

趣味やサークルなどの芸術活動に関わる普段の活動状況を聞いたところ、「おこなっていない」が42.9%と最も高く、次いで「おこなないと思うが、おこなっていない」(21.2%)、「過去におこなっていたが、今はおこなっていない」(17.5%)となっています。

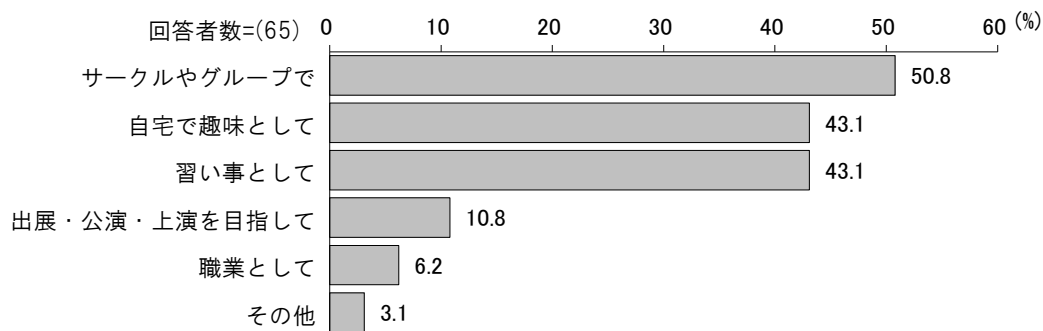
性別にみると、「おこなっていない」は男性(47.1%)の方が女性(39.4%)より7.7ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「おこなっていない」は“※40・50代”が55.1%で最も高く、「おこなっている」は“※60歳以上”が29.6%で最も高くなっています。

15 趣味やサークルなどの芸術活動の内容

(問4で「1 おこなっている」または「2 過去おこなっていたが、今はおこなっていない」とお答えの方に)

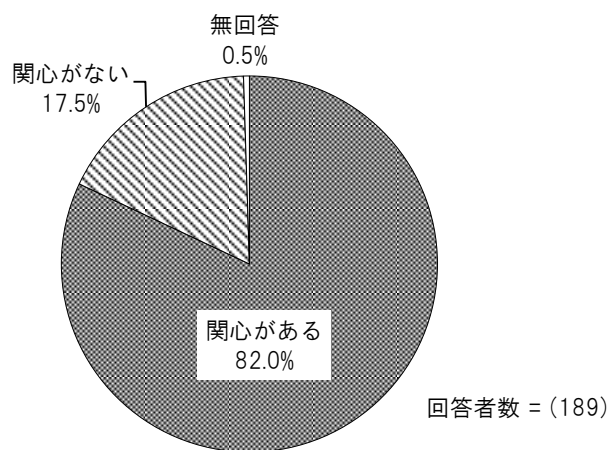
問4-1 あなたは、その活動をどのようにおこなっていますか(いましたか)
(〇はいくつでも)。



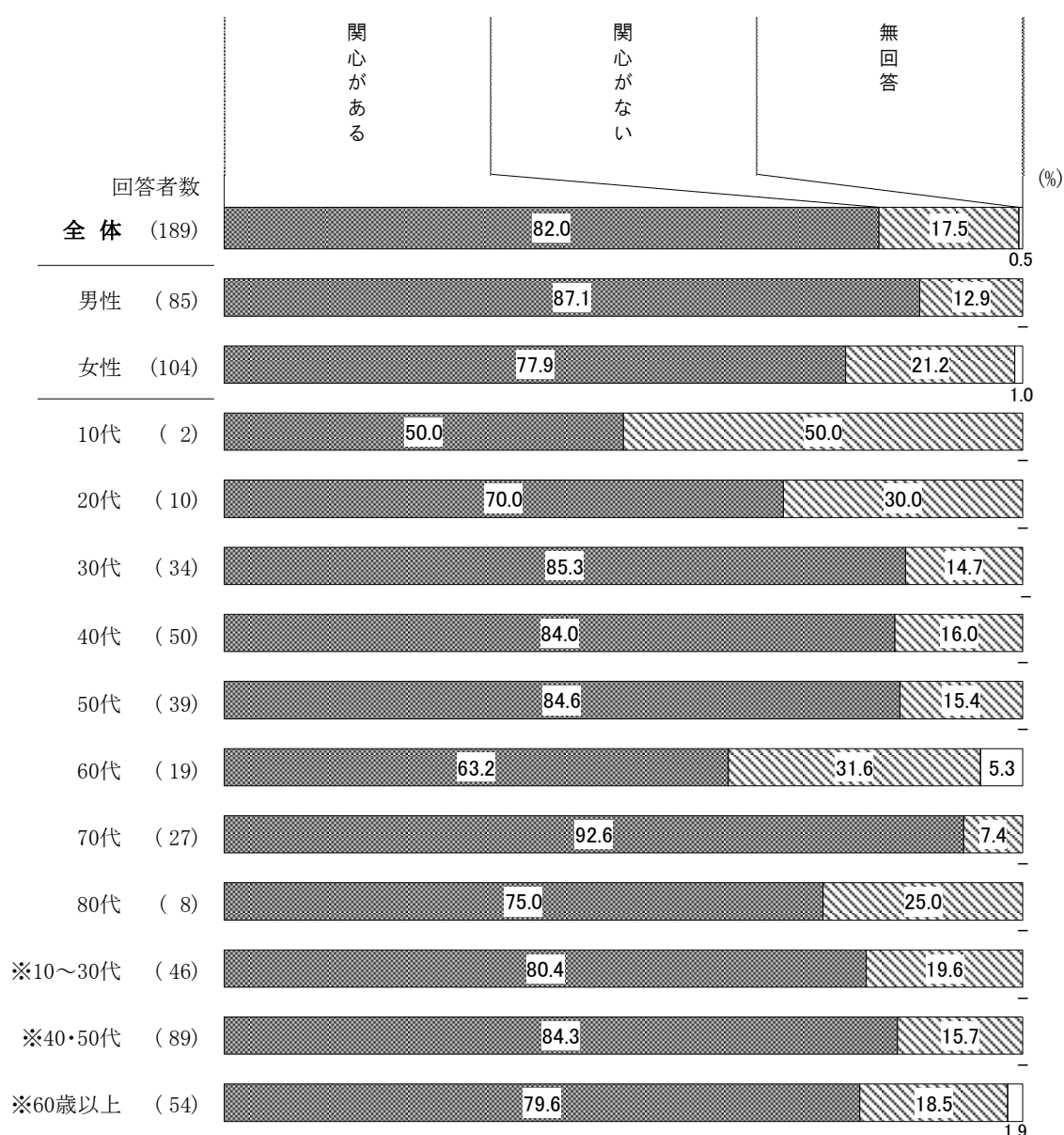
文化芸術に関わる活動を“おこなっている”または“過去におこなっていたが、今はおこなっていない”とお答えの方に、趣味やサークルなどの芸術活動の内容を聞いたところ、「サークルやグループで」が50.8%と最も高く、次いで「自宅で趣味として」と「習い事として」(ともに43.1%)が4割台で続いています。

16 区内や居住地の伝統芸能や文化財への関心の有無

問5 あなたは、足立区内やあなたの住む地域の伝統芸能や文化財などに関心がありますか（○は1つだけ）。



区内や居住地の伝統芸能や文化財への関心の有無を聞いたところ、「関心がある」が8割強を占めており、「関心がない」は2割弱となっています。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

区内や居住地の伝統芸能や文化財への関心の有無を性別にみると、「関心がある」は男性（87.1%）の方が女性（77.9%）より9.2ポイント高くなっています。

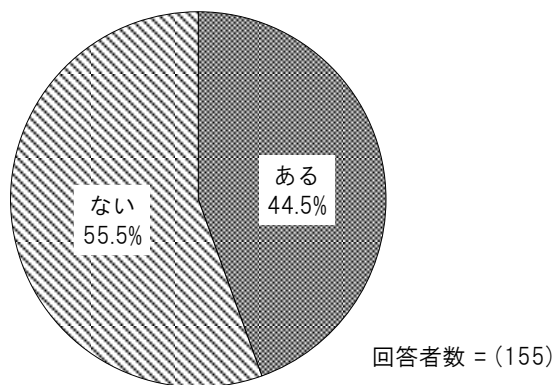
年代別にみると、10代、60代以外は70%以上となっており、高い関心があることがわかります。

年代層別にみると、「関心がある」は“※40・50代”が84.3%で最も高くなっています。

17 区内や居住地の伝統芸能や文化財を見たり聞いたりした体験の有無

(問5で「1 関心がある」とお答えの方に)

問5-1 あなたは、足立区内やあなたの住む地域の伝統芸能や文化財などを観たり、聴いたり、体験したことがありますか(○は1つだけ)。

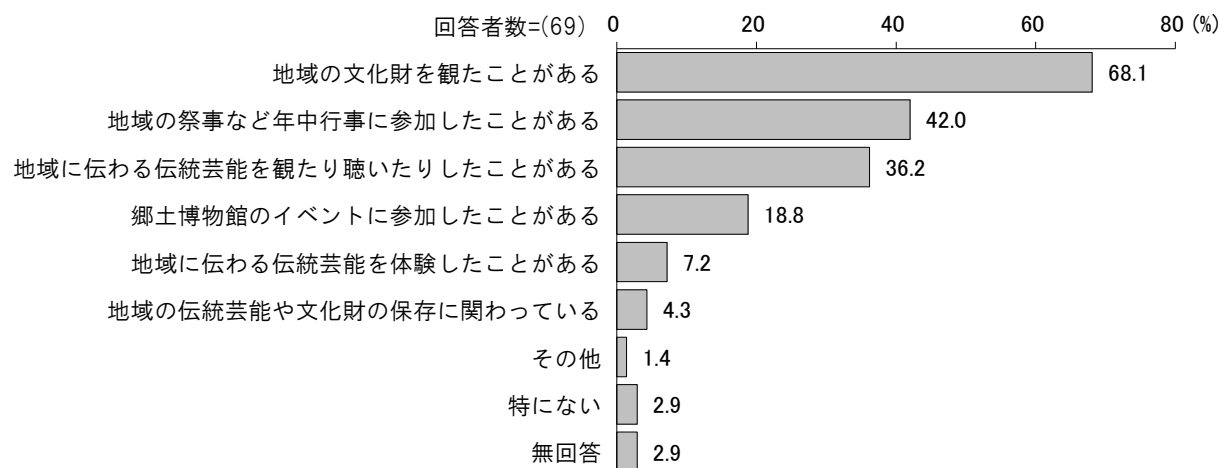


伝統芸能や文化財への関心が“ある”とお答えの方に、区内や居住地の伝統芸能や文化財を見たり聞いたりした体験を聞いたところ、「ない」が55.5%で、「ある」(44.5%)を上回っています。

18 観たり聴いたり体験した伝統芸能や文化財の内容

(問5-1で「1 ある」とお答えの方に)

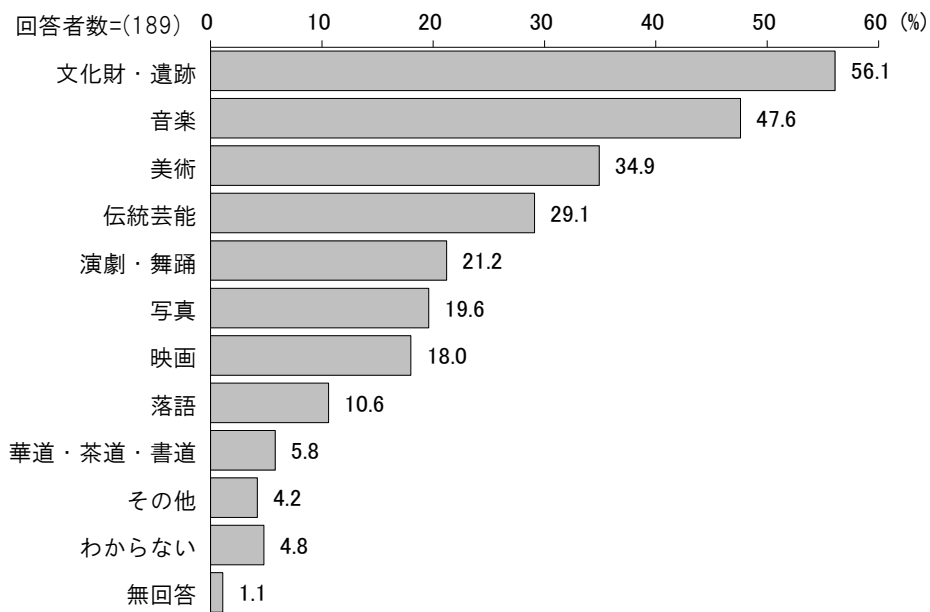
問5-1-1 あなたが観たり、聴いたり、体験した伝統芸能や文化財はどのようなものですか(〇はいくつでも)。



伝統芸能や文化財への関心が“ある”とお答えの方に、観たり、聴いたり、体験した伝統芸能や文化財はどのようなものかを聞いたところ、「地域の文化財を観たことがある」が68.1%と最も高く、次いで、「地域の祭事など年中行事に参加したことがある」(42.0%)、「地域に伝わる伝統芸能を観たり聴いたりしたことがある」(36.2%) などとなっています。

19 今後の区の文化芸術事業にとって重要だと思う分野

問6 あなたは、今後の足立区の文化芸術事業にとって、重要だと思う分野は何ですか
(〇は3つまで)。



今後の区の文化事業にとって重要だと思う分野を聞いたところ、「文化財・遺跡」が56.1%と最も高く、次いで「音楽」(47.6%)、「美術」(34.9%)、「伝統芸能」(29.1%)などとなっています。

サンプル数が少ないため、参考値にはなりますが、重要度が高いとされる「文化財・遺跡」「音楽」について年代別にみると、「文化財・遺跡」は80代が87.5%と最も高く、次いで、70代(66.7%)、20代(60.0%)となっています。また、「音楽」は20代が70.0%で最も高く、次いで、60代(63.2%)30代(52.9%)となっています。

20 今後の区の文化芸術事業で力を入れてほしいもの

問7 あなたが思う、今後の足立区の文化芸術事業に力を入れてほしいものについて、具体的なことを記述してください。

※172名より延べ191件の回答

【力を入れてほしいもの（分野別件数）】

文化財・遺跡	33件
美術・アートのイベント	25件
無料のイベント・気軽に参加できるイベント等	21件
子供向けイベント	19件
音楽	16件
演劇・舞踊	11件
写真	8件
映画	7件
オンラインイベント等	5件
※区のPRが不足している	(19件)
その他のご意見	27件

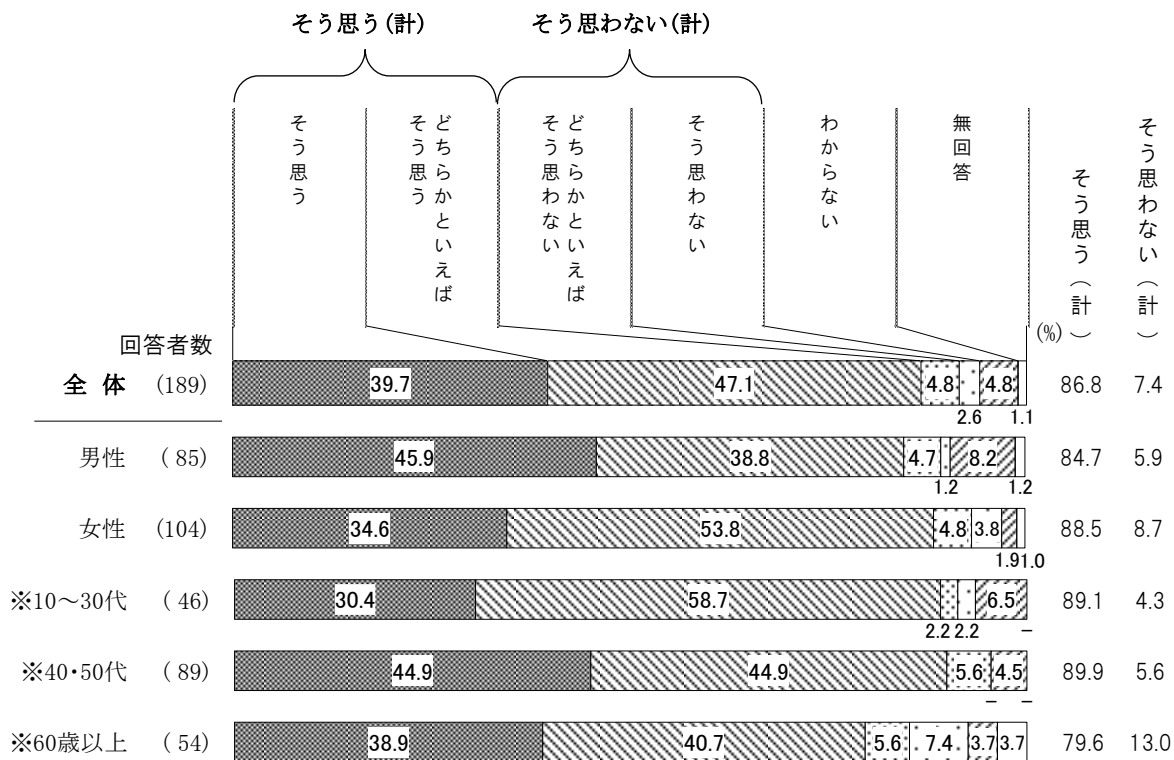
今後の区の文化芸術事業で力を入れてほしいものについて自由記述で聞いたところ、172人から延べ191件のご意見をいただきました。

ご意見等を分野別に分類したところ、「文化財・遺跡」が33件で最も多く、次いで、「美術・アートのイベント」(25件)、「無料のイベント・気軽に参加できるイベント等」(21件)、「子供向けイベント」(19件)などとなっています。

また、具体的な文化芸術事業は挙げられていないものの「区のPRが不足している」(19件)といったご意見もいただきました。

21 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え

問8 あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながるとおもわれますか（〇は1つだけ）。



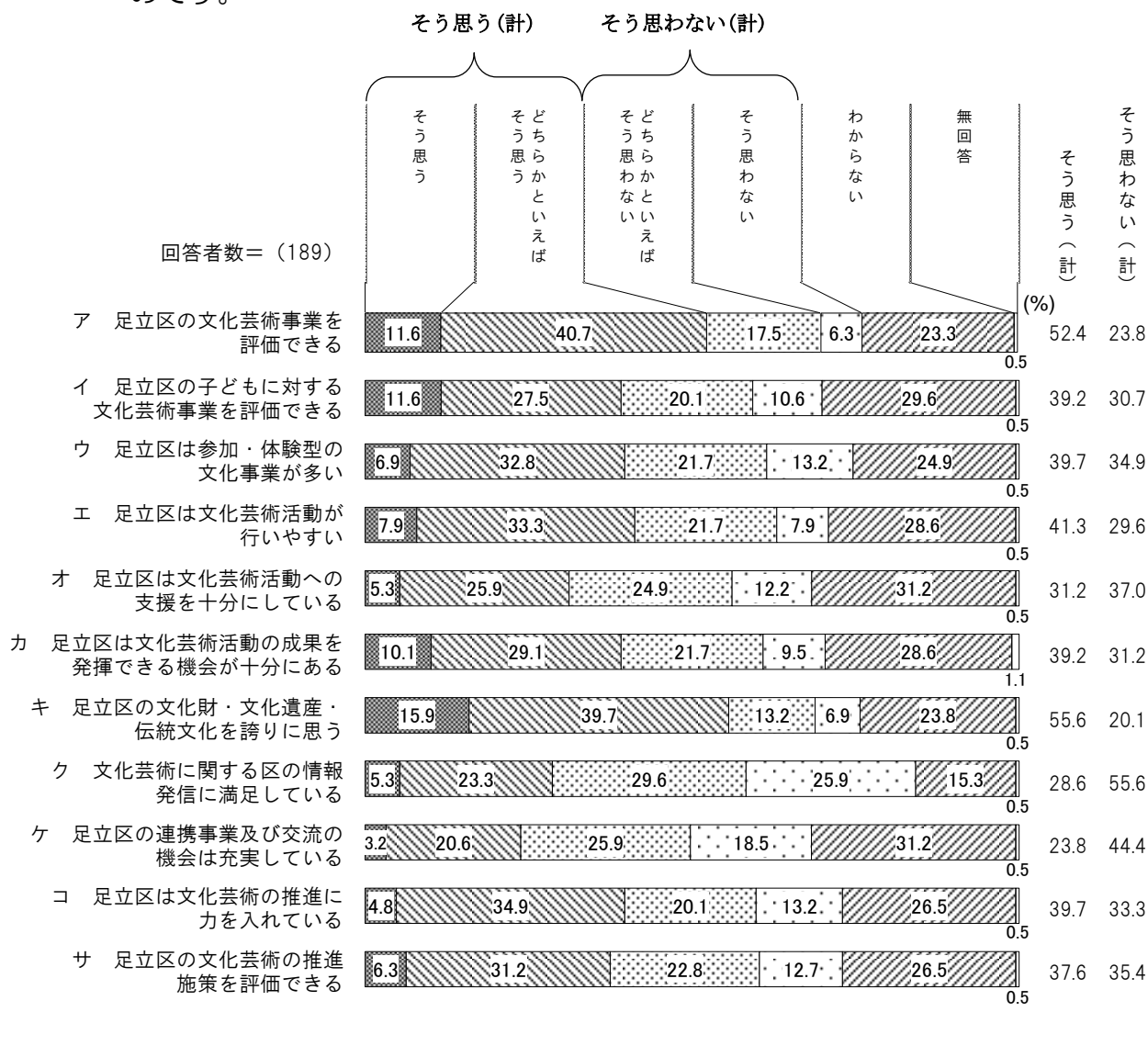
今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると思うかについて聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が47.1%と最も多く、「そう思う」(39.7%)と合わせた《そう思う(計)》は86.8%となっています。

性別にみると、《そう思う(計)》は女性(88.5%)の方が男性(84.7%)より3.8ポイント高くなっています。

年代層別にみると、《そう思う(計)》は“※40・50代”が89.9%で最も高くなっています。

22 文化芸術について

問9 文化芸術について、どのように感じていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。
 ※ 本設問は、足立区文化芸術推進計画の施策の進捗状況を把握するためのものです。



最後に、足立区の文化芸術や区の取組について、どのように感じているか聞いてみました。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う(計)》は、「キ 足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う」が55.6%で最も高く、次いで、「ア 足立区の文化芸術事業を評価できる」(52.4%)、「エ 足立区は文化芸術活動が行いやすい」(41.3%)などとなっています。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた《そう思わない(計)》は、「ク 文化芸術に関する区の情報発信に満足している」が55.6%で最も高く、次いで、「ケ 足立区の連携事業及び交流の機会は充実している」(44.4%)、「オ 足立区は文化芸術活動への支援を十分にしている」(37.0%)などとなっています。

第 4 章 調査票

モニター番号 _____ 番
(必ず記入してください)

令和4年度 第1回 区政モニターアンケート

《文化芸術事業に対する意識、活動等状況調査について》

足立区では、令和2年3月に「足立区文化芸術推進計画」を策定し、当該計画により文化芸術を展開しています。

今回、足立区の文化芸術関連事業に対する区民のみなさまの意識や文化芸術活動等の状況をお伺いし、今後の施策に活かしていくため、アンケートを実施いたします。

ご協力をお願い申し上げます。

担当所属：地域文化課

※ 本アンケートに出てくる「文化芸術」とは、音楽、美術、落語、華道、書道、演劇、舞踊、映画、伝統芸能、文化財・遺跡などを指します。



足立区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



～「何気なくおこなっている文化芸術」～

文化芸術はコンサートホールで音楽を聴いたり、美術館で観たり、教室に通うなど、堅苦しいイメージがありませんか？

しかし、音楽、映画、美術などの鑑賞はお家でも通勤途中でも楽しめていますね。これも立派な文化芸術活動です。



問1 あなたは文化芸術を観たり・聴いたり・創作することに関心がありますか
(○は1つだけ)。回答者数=(189)

1 関心がある	→ 問1-1、問1-2へお進みください。	92.6%
2 関心がない	→ 問2へお進みください	2.6
3 わからない		3.2
無回答		1.6

(問1で「1 関心がある」とお答えの方に)

問1-1 あなたは、どのような分野に関心がありますか (○はいくつでも)。
回答者数=(175)

1 音楽	84.6%	7 映画	74.3
2 美術	68.0	8 伝統芸能	37.1
3 写真	42.3	9 文化財・遺跡	54.9
4 落語	37.7	10 その他 ()	4.0
5 華道・茶道・書道	24.6	11 わからない	—
6 演劇・舞踊	44.6		

(問1で「1 関心がある」とお答えの方に)

問1-2 あなたが文化芸術に関心を持つようになったきっかけは何ですか
(○はいくつでも)。回答者数=(175)

1 親(家族、親族など)が文化芸術を、観たり聴いたりさせてくれた	29.7%
2 親(家族、親族など)が文化芸術に親しんでいた	22.9
3 自分の子どもが文化芸術を好きだ	7.4
4 友人・知人に誘われて	20.0
5 学校の授業や行事・部活動の経験	29.7
6 テレビや新聞などの宣伝・広告をみて	45.7
7 小説や漫画を通じて	25.7
8 ドラマや映画を通じて	41.1
9 特定の作家・アーティストや作品に関心を持った	33.1
10 足立区の施設で公演・展示会などを観たり、聴いたりして	13.1
11 新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた	3.4
12 その他 ()	8.6
13 特に理由はない	7.4
無回答	

(すべての方にお聞きします)

問2 芸術鑑賞活動について伺います。あなたは過去一年間に、文化ホール・美術館等やイベントに行ったり、オンラインやWEBやテレビにより、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか(〇は1つだけ)。 回答者数=(189)

1 観たり、聴いたりした	→ 問2-1～問2-4へお進みください。	66.1%
2 したかったが、できなかった	→ 問2-5へお進みください	22.8
3 しようとは思わなかった		11.1
無回答		

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-1 あなたは、どのような分野を観たり、聴いたりしましたか(〇はいくつでも)。 回答者数=(125)

1 音楽	61.6%	7 映画	59.2
2 美術	52.8	8 伝統芸能	14.4
3 写真	20.8	9 文化財・遺跡	34.4
4 落語	16.0	10 その他()	4.0
5 華道・茶道・書道	11.2	11 わからない	—
6 演劇・舞踊	28.0	無回答	

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-2 あなたは、どこでそれらのイベントや作品を観たり、聴いたりしましたか(〇はいくつでも)。 回答者数=(125)

1 ギャラクシティ(こども未来創造館)	20.0%
2 シアター1010	15.2
3 西新井文化ホール	18.4
4 足立区立郷土博物館	15.2
5 東京芸術センター天空劇場	7.2
6 石洞美術館	3.2
7 六町ミュージアム・フローラ	6.4
8 BUoY北千住アートセンター	4.8
9 わたなべ音楽堂(ベルネザール)	2.4
10 オンラインやWEBなど	30.4
11 その他区外施設など()	64.0

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-3 あなたが作品を観たり、聴いたりしたきっかけは何ですか (〇はいくつでも)。
回答者数=(125)

1 親(家族、親族など)から文化芸術の話聞いて	19.2%
2 友人・知人から文化芸術の話聞いて	22.4
3 テレビや新聞などで話題になっていたから	44.0
4 小説や漫画をみて	7.2
5 子どもに観せたり、聴かせたかったから	14.4
6 自分が好きな作家やアーティストの作品だから	34.4
7 その他()	17.6
8 特にきっかけはない	6.4
無回答	0.8

(問2で「1 観たり、聴いたりした」とお答えの方に)

問2-4 あなたは観たり、聴いたりしたイベントや作品の情報をどのように知りましたか (〇はいくつでも)。
回答者数=(125)

1 インターネットで調べて	59.2%	6 広報を見て	29.6
2 SNSを利用して	24.0	7 チラシを見て	22.4
3 テレビやラジオなどの宣伝を聞いて	34.4	8 ポスターを見て	22.4
4 雑誌や新聞を見て	32.0	9 その他()	3.2
5 人から話を聞いて	31.2	10 情報は集めていない	2.4
		無回答	0.8

(問2で「2 したかったが、できなかった」または「3 しようとは思わなかった」とお答えの方に)

問2-5 過去一年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等に行ったり、オンラインやWEBやテレビなどにより、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしなかった理由は何ですか (〇はいくつでも)。
回答者数=(64)

1 新型コロナウイルスの影響のため	70.3%	9 文化芸術が嫌いだから	-
2 一緒に楽しむ人がいないから	7.8	10 面倒くさいから	7.8
3 楽しみ方が分からないから	14.1	11 文化芸術以上に大切な	4.7
4 子どもに手がかかるから	18.8	ことがあるから	
5 病気やけがをしていたから	4.7	12 興味がないから	7.8
6 年をとったから	7.8	13 その他()	6.3
7 場所や施設がないから	14.1	14 特に理由はない	3.1
8 お金に余裕がないから	17.2	無回答	1.6

(すべての方にお聞きします)

問3 あなたは、これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがありますか (〇は1つだけ)。 回答者数=(189)

1 ある	→	34.9%	問3-1～問3-3へお進みください
2 ない	→	63.5	問4へお進みください
無回答		1.6	

(問3で「1 ある」とお答えの方に)

問3-1 あなたは、どこで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加しましたか (〇はいくつでも)。 回答者数=(66)

1 ギャラクシティ (こども未来創造館)	42.4%	8 東京芸術センター天空劇場	9.1
2 地域学習センター	33.3	9 石洞美術館	7.6
3 生涯学習センター	33.3	10 六町ミュージアム・フローラ	10.6
4 住区センター	28.8	11 BUoY北千住アートセンター	6.1
5 シアター1010	18.2	12 わたなべ音楽堂(ベルネザール)	4.5
6 西新井文化ホール	21.2	13 オンラインやWEBなど	12.1
7 足立区立郷土博物館	24.2	14 その他区外施設など()	40.9

(問3で「1 ある」とお答えの方に)

問3-2 あなたが参加したイベントや講座は、どのようなものですか。

※ オンラインイベントの場合は、開催場所を「オンラインイベント」としてください。

開催場所	イベント・講座内容等

(問3で「1 ある」とお答えの方に)

問3-3 あなたは、問3-1のイベントや講座の参加後に、何か文化芸術についておこなったことはありますか(〇はいくつでも)。 回答者数=(66)

1 創作・表現を体験できる別のイベントに参加した	15.2%
2 体験した分野の作品を文化ホールや美術館などで観たり、聴いたりした	18.2
3 体験した分野の習い事を始めた	6.1
4 自分で創作・表現の活動を始めた	12.1
5 体験した分野について自分で調べたり、学んだりした	25.8
6 イベントに参加していた人同士のつながりができた	15.2
7 その他()	6.1
8 参加後、特に何もしていない	48.5
無回答	3.0

(すべての方にお聞きします)

問4 あなたは、趣味やサークルなど、普段から文化芸術に関わる活動をおこなっていますか(〇は1つだけ)。 回答者数=(189)

1 おこなっている	→ 問4-1へ	16.9%
2 過去におこなっていたが、今はおこなっていない	→ お進みください	17.5
3 おこないたいと思うが、おこなっていない	→ 問5へ	21.2
4 おこなっていない	→ お進みください	42.9
無回答		1.6

(問4で「1 おこなっている」または「2 過去におこなっていたが、今はおこなっていない」とお答えの方に)

問4-1 あなたは、その活動をどのようにおこなっていますか(いましたか) (〇はいくつでも)。 回答者数=(65)

1 自宅で趣味として	43.1%	4 出展・公演・上演を目指して	10.8
2 サークルやグループで	50.8	5 職業として	6.2
3 習い事として	43.1	6 その他()	3.1
		無回答	

ミニコラム ～「近年 新たに発見された美術資料」について～

足立区立郷土博物館では、文化遺産調査事業により新たに発見された「地域に伝来する貴重な美術資料」を収蔵しています。



「風神雷神図屏風」などの作品で知られる「琳派」の系譜を継いで千住で活動した^{むらこしきえい}村越其栄、^{むらこしこうえい}村越向栄らの美しい作品は、美術界では「千住の琳派」として有名になりました。

他にも、これまでに足立区が継承してきた貴重な文化遺産を未来に伝えるため、収蔵体制を整え、展覧会を日々企画しています。ご興味のある方は、ぜひ足立区立郷土博物館へ足を運んでみてください。



村越向栄 八橋図屏風(個人蔵当館寄託資料)

(すべての方にお聞きします)

問5 あなたは、足立区内やあなたの住む地域の伝統芸能や文化財などに関心がありますか(〇は1つだけ)。 回答者数=(189)

1 関心がある	→ 問5-1へお進みください	82.0%
2 関心がない	→ 問6へお進みください	17.5
無回答		0.5

(問5で「1 関心がある」とお答えの方に)

問5-1 あなたは、足立区内やあなたの住む地域の伝統芸能や文化財などを観たり、聴いたり、体験したことがありますか(〇は1つだけ)。 回答者数=(155)

1 ある	→ 問5-1-1へお進みください	44.5%
2 ない	→ 問6へお進みください	55.5

(問5-1で「1 ある」とお答えの方に)

問5-1-1 あなたが観たり、聴いたり、体験した伝統芸能や文化財はどのようなものですか(〇はいくつでも)。 回答者数=(69)

1	地域の祭事など年中行事に参加したことがある	42.0%
2	地域に伝わる伝統芸能を観たり聴いたりしたことがある	36.2
3	地域に伝わる伝統芸能を体験したことがある	7.2
4	地域の文化財を観たことがある	68.1
5	地域の伝統芸能や文化財の保存に関わっている	4.3
6	郷土博物館のイベントに参加したことがある	18.8
7	その他()	1.4
8	特にない	2.9
	無回答	2.9

(すべての方にお聞きします)

問6 あなたは、今後の足立区の文化芸術事業にとって、重要だと思う分野は何ですか(〇は3つまで)。回答者数=(189)

1	音楽	47.6%	7	映画	18.0
2	美術	34.9	8	伝統芸能	29.1
3	写真	19.6	9	文化財・遺跡	56.1
4	落語	10.6	10	その他()	4.2
5	華道・茶道・書道	5.8	11	わからない	4.8
6	演劇・舞踊	21.2		無回答	1.1

問7 あなたが思う、今後の足立区の文化芸術事業に力を入れてほしいものについて、具体的なことを記述してください。

問8 あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると思われますか（〇は1つだけ）。 回答者数=(189)

1	そう思う	39.7%	4	そう思わない（理由： ）	2.6
2	どちらかといえばそう思う	47.1	5	わからない	4.8
3	どちらかといえばそう思わない	4.8		無回答	1.1

問9 文化芸術について、どのように感じていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。
 ※ 本設問は、足立区文化芸術推進計画の施策の進捗状況を把握するためのものです。 回答者数=(189)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
ア 足立区の文化芸術事業を評価できる	11.6%	40.7	17.5	6.3	23.3	0.5
イ 足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できる	11.6	27.5	20.1	10.6	29.6	0.5
ウ 足立区は参加・体験型の文化事業が多い	6.9	32.8	21.7	13.2	24.9	0.5
エ 足立区は文化芸術活動がおこないやすい	7.9	33.3	21.7	7.9	28.6	0.5
オ 足立区は文化芸術活動への支援を十分にしている	5.3	25.9	24.9	12.2	31.2	0.5
カ 足立区は文化芸術活動の成果を発揮できる機会が十分にある	10.1	29.1	21.7	9.5	28.6	1.1
キ 足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う	15.9	39.7	13.2	6.9	23.8	0.5
ク 文化芸術に関する区の情報発信に満足している	5.3	23.3	29.6	25.9	15.3	0.5
ケ 足立区の連携事業及び交流の機会は充実している	3.2	20.6	25.9	18.5	31.2	0.5
コ 足立区は文化芸術の推進に力を入れている	4.8	34.9	20.1	13.2	26.5	0.5
サ 足立区の文化芸術の推進施策を評価できる	6.3	31.2	22.8	12.7	26.5	0.5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

インフォメーション ～「身近にある文化芸術」について～

「音楽ライブや観劇は都心に行かないと…」なんて思っていないですか？
実は足立区にも本格的なおススメ施設があるんですよ。

1つ目は、**西新井文化ホール**！

足立区出身のピアニスト白石光隆さんも「とにかく響きがゴージャスで好きなホールですね。音の良いピアノ『**ス
タインウェイ**』をぜひ聴きに来てほしい」とお墨付きのホールです。



イベント情報



西新井文化ホール

2つ目は、**シアター1010**！

「おしりたんていミュージカル」「ダディ・ロング・レッグズ」など、演劇を中心とした本格的で多彩な舞台を満喫できます。

このほか、民間を含め様々な文化施設があります。

いかがですか？足立区内の身近な施設で、気軽に文化芸術を楽しんでください。



イベント情報



シアター1010

～～どうしたら文化芸術を楽しめるの？～～

「本格的な文化芸術はハードルが高い」という方は多いと思います。
そこで、気軽に楽しめる区の事業を一部ですがご紹介します。

1 デジタルで文化芸術を楽しもう！

(1) 藝大連携事業による音楽配信

良質な音楽の提供事業（藝大連携事業）は、コロナ禍により対面でのコンサートが困難なため配信により事業展開を行っています。演奏曲の解説を加えることで、はじめての方にも音楽の理解を深めていただくことができる内容となっています。

(2) 文化遺産調査の情報発信

文化遺産調査の成果を身近に感じていただくために、文化遺産調査漫画「ビビビ美アダチ」を作成し、郷土博物館ホームページや区の公式ツイッター等で発信しています。



2 シアター1010の無料招待事業

足立区に在住・在学・在勤の方を対象にシアター1010への無料招待事業を実施しています。滄海天記（そうかいてんき）、次世代演歌LIVEなど、幅広い世代をターゲットに事業を展開しています。

3 ストリートピアノで日頃の成果を発揮しよう！

ギャラクシティで休館日を除き毎日午前10時15分から午後4時まで実施しているストリートピアノ。その参加者の一部の方が、西新井文化ホールで実施されたコンサートの出演者となる事業を開催しています。



その他、お近くの学習センター
などでも多くの文化芸術事業を行っています。



気になるものはありましたか？これを機にいろいろチェックしてみてください